究の結果正式軍事

車事参議官會議前に非公式軍事参議官會議を開催、耐してた、戦事の議院に難する御路詢手続きについては華府會議の先例研

政府はその對策に

配して総約兵力量問題については正式會議において賛成派と反對派が意見の一東郷元職を加へて行ふ機定で景後に管中で行はれる正式総議は今週末か職くも来週初めに行はれる、大倉職に健された取会部業につき既に総議を消める爲め十六日午後六時既に欺六大耳頭倉職を開き最大倉職に健された取会部業につき既に総議を消める爲め十六日午後六時既に欺六大耳頭倉職を開き最大倉職に健された取会部業につき既に総議を消める爲め十六日午後十一時十分傾合した。使つて第五てこれが正式暴職官倉職の開倉委職者は徐日取会部長と決定し午後十一時十分傾合した。使つて第五

致を見ずに賛否を採決す

るやも知れざる情勢である

海相辭任の言質に

不満を有

上頭會議急に進展

新國防案審議に入る

九流に基くものとし結局機防武器上不完分と決定されるものと見ら

兵力量論議の

調停はせ

無い、論議すべからざるものとして彼れ是れ論談すべきものではて彼れ是れ論談すべきものでは

憲法に明記され

込まれたし

大觀

小觀

製鋼所問題には努力する

上京金上

齋藤總督語る

次の會議でも日本

0

割要求に

は反

『東京における論學は電部と支配

木上院でも軍職係的案計器の

更に、加藤立会部長の部職に格 むやう臓器の策略は、どの風にも ある事、と唱談す。

協つて、といふ謎が日本にある。 瞬見、米観にこの部――我身を

矢面に立つ

y

ド氏の答辯

院議會の論戦

に決定せる兵力量の範疇内で立案 案者たる谷口取会部長は就任前監 の表表の表示のでは、1000年ので立案

凸版"銅版 久保田

走

馬

を強んとす、

获

官會議 に開ノ

鐵(共十二)

正式會議は今週末か來週初め 3 昨夜巨頭會議 事參議

別園が砂場された組織を更新せ を利を打撃しながら、相互の説 で和を打撃しながら、相互の説

から智蔵を盛ずる他園に、それの場が、それは選大軍総合神の結果が、それで他國を決してる海域力、それで他國を決してる海域力、それで他國を決してる海域力、それで他國を決しても明る、若し自己國際の爲ない。

谷口軍令部長

進退を重視

諸君の^別推察に委す **廣範閣に亘り意見を聴き谷** 晩の會職では軍師、軍令に **豫參議官**

かは

新義州に 置くことは既に をものが騒ぐのは無理のないこと をのが騒ぐのは無理のないこと である、わしはどおらになつて

その進級問題を選起し、延いて内 「宛むること」なつたは行き得ないことを實體するもの りはせぬかと問題の推移に非常なは行き得ないことを實體するもの りはせぬかと問題の推移に非常なが期待して居るやうな一本押しで 関の運命に関する重大事態に立至

谷口軍令部長は

解任の必要無

新國防案不充分でも

風頭上不充分なりとするも 酸位のしたものであるから関防計製率が

なしとされてゐる

三、此 發電設備

鷄冠山に 柳原平三郎 季俊

的使命 大島 文茂

後率天等沿行 すると

市満電無機式会成では今回変金四 南海電無機技術が変を開始する事 地内に電無供給が変を開始する事 になったが石は現在郭家店にある になったが石は現在郭家店にある の変電影が 在大温敞井縣人館では十八日午後藤、神殿長も出離り響、出席都部といる時代というのでは十八日午後藤、神殿長も出離り響、出雕都部、神殿長も出離り響、出雕都部 福井縣人會總會 少しも早く来て臭れをの電機を でけたので二日早く立つた、海 気でのかわしには全て判らぬ、 配和網網所は本社を京城に置き 工場を 工場を

信じて居る、從つて干犯問題も をと思ふ、要するに問題は新 海軍問期につき陸軍の容喙は要 がでも別らぬ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は要 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふ、要するに問題は新 をと思ふのは、世界平和と國民の で居るのが、世界平和と國民の

三原 正維 佐久間勝森

後奉天等活線器地を聴察の上層哈上たが一行は十二日本語を討したが一行は十七日を開に商び托上の五氏は十二十六日本語を訪問を対したが一行は十七日を開に商び托

露字紙記者團

日本大學院院部は一行六名は支那女性研究者として合名ある同大學文化研究者として合名ある同大學文化研究者として合名ある同大學 明十七日基督教青年膏館にて 地に移設し使用せんとするもので地に移設し使用せんとするものであるが時地は今秋。 する記載もある複様なので全端出し日下であるが時地は今秋。 にも重要な土地であるから増現の一部が設高に神益する所能くないで 獅子吼

《東京十六日時電通》加藤軍事会 加藤參議官 日大生の 東郷元帥を訪

間

るところ、國际に於て號り、概 を強んとす、是所も競爭の存す を強んとす、是所も競爭の存す を強んとす、是所も競爭の存す れば

海崎県に於てなやである。

武装がは経済の後に立つ必要あ

容を網管に十一時四十分離談したと財職し昨夜の海道豆頭館業の内を財職し昨夜の海道豆頭館業の内 めた

谷口軍令部長 東郷元帥を訪問

ばれな版ドンウサ 書映響音作特 の來以立創祉ルナ **愛藍氏スリーモンツイフ:ジーヨジ演熱の生果嬢ーアム・ンー** 1

盡映連大 凝を裝扮 び再今は作傑のみか 5 3 0

獚大會議の序幕を觀る 代表州名署名の總宣言發表

方政府の

母

「東京十五日強信通」 よる四日来 ・ 「東京十五日強信通」 よる四日来 ・ 「東京十五日強信通」 よる四日来

水 めんとする或器

国は、実施等を代ひ聞い、選上でする重複総督

金職経転にて今夕六時代 金職経転にて今夕六時代 ので語る

十八間番山

あったが

職名總官部の内容は左の通りであ

▲ 有歌 製治本、鄉魯 長、傳放繁 長、傳放繁 本海、群級 遊丕康、 本字宗仁派 春娘單, の十五名であった。

九

即ち同氏は條約中の日米關係係残 割ら居時の全機 から ひとん から 反転配の 矢 から 反転配の 矢

至り雷時の全極 アメントン十五日愛電通 アメ

ないものである。今中佛、伊も メリカとの通商は盆々密接な側 保にあつてこれら三國の何れの 限もこの友交関係を繰更する事 「國もこの方交関係を繰更する事

の一 がず鑑に二月五日スチムソン氏が なしたアメリカの郷熱塩彩の公装 と解析なくせしめ且つ右文報をリード氏から受け取つた後「四月三」 表され渡い」と希臘しこれに跳し 表され渡い」と希臘しこれに跳し

折析

以前無相の無位置。

ド氏に難

してい

こッぱづかしい

ジョンソン氏 アメリカジョンソン氏 アメリカ・ジョンソン氏 アメリカ・電流は大巡二十三隻を要求し大・ボストを アメリカ

響は下脚でっ

「政府が廃跡なら憾も確断で」と
は石郷線が東京で力んでると「降
い人に任して置くさ」と、無難続

中心へ物たる注末経氏から始まつ 中心へ物たる注末経氏から始まつ あつた、三十人の劉名したる離暦

布され、十月日より談所 行って新政は開いたを登録してスライくゆくれ 法動氏 1八北平特 ほかんのである 1 政府職立の母職だけは さて機大会に か否か、新 やつと出来

合かり

であらう」と歌歌せるに致してあらうと歌羽してあるものである。 であらう」と歌歌せるに致してする。 日本が次の會議においてその微明を主婦する。 であらうと後親してメリカとの婚別を主婦する。 に数し七側要求を掲載するであると同様にアメリカも亦その機利を大期會議において日本が各艦種大規會議において日本が各艦種大規令議員としてあるものである。 会は、大規令議員としてあるものである。 たりに数してみるものである。 会は、大規令議員としてあるものである。 からうと 強烈してみるものである。 たり はい こう はい こう

とてこれに願ぜず茲においてジョンソン氏はリード氏の事務所において外交支書を被阻せしむべしとの申出でを受謝した上上院はアメリカの提案内容が孤上に暴露された事を感謝すべきでに暴露された事を感謝すべきで

長幸營旅大

天氣 各 地温度 温度

30

修正可決。舊く泳で者、水に織

で修正可

上院の規定に依れば議員の發言 がリード氏は

と場職し更に勢質部間を要求した

くこれを得たのである

雨

n

報

本天中學校 基天中學校 基大學 基本三 正房使利 以 木登 二 正房使利

長校佐水上細城池木齋館秋坂村へ口田野戸田村業田尾

投捕一二十三遊左中市石同手手扇扇扇影翼同琴翼 安東中學校

覧技捕一二三遊石中左補同同 哲士手編編攝聚翼聚翼峽

ルテームの各ナインの氏名左の如

一百戶浸水

廣寧寺で列車立往生

金福沿線の水害狀態

に馳狂せしむるものであらう、意思とのプレーこそファンを極度

大村 武士

監投捕一二三遊左中右補同同督手手扇循贔郻翼堅翼缺同同

之男嚴輔郎男次喜雌郎良三藏郎士之男嚴輔郎男次喜唯郎男大正正整川實養宰大武 廳華過口本石本藤永田田村川川村 歷華過口本石本藤永田田村川川村 市齋卷藤松牛中芹桑上山安降川養淵枝井田原橋門野中扇矢 數正審重武長開信 義暗滿龍 監投捕一二三遊左中右補同同同同醫手目贔贔齒擧囂堅置缺同同同同 大連商業學校監投補一二三遊左中右補同同營手再顧攝擊電堅震硤同同

碧流河氾濫

必勝を期す五チーム出場し 全滿豫選大會迫る の榮冠 は躍る

代表チ

中であるが楊樹底に於て爾州者一

にあり現在既に車原相次ぐの狀勢 にあり現在既に車原相次ぐの狀勢

東原に移管する事は異然であると道路管理並に依内道路の統一上時

被害甚大の

花期の天候氣遣はる開

後開花期であつたので水雪は最 を開花期であつたので水雪は最 あたが今回の終雨であつたので水雪は最 あたが今回の終雨であつたので水雪は最 を伴ふらしく既に一二ケ所 にかけての天候は最も気に であったので棚して変く を伴ふらしく既に一二ケ所

し父

の横領金を

相續人

八が支拂ふ

保險料に絡まる訴訟

合

豪雨のため 電信不通 及び機能を中心として関原、率天 下は拡大を中心として関東州方面 下は拡大を中心として関東州方面 では大き中心として関東州方面 推脳方配が最も多く十五日午後は及び機能を中心として開原、率天

小源地の増水

づかはれてゐる

前六時五十六分には全部復居し

メートル料金に換算して

は一点三の相談線小様愛子を相手収 り、真三の相談線小様愛子を相手収 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支 り、真三の複調金線線三千圓を支

を経營し、被告の父州口貞三は十五年二月から十二月までに被告の父は原告の委任によつで収益でに保險料八千九百八十三國でに保險料八千九百八十三國を積領した其後少額づム辨濟中貞三は昭和三年五月十九日死亡した、よつて護帝相横入たる貞三は昭和三年五月十九日死亡した。

十六日小協子類に呼出さ

千萬順手で減水して將來を無道は れた大通水道は王家店水源池のかった大通水道は王家店水源池のかった。 十五日朝來の豪雨は十六日午前七 ・ 龍王塘水瀬池の降 は王家店水瀬池の降 の降 もう水の心配はない

水、法面線及下り線方面は決學 水、法面線及下り線方面は決學 を限り十六日十五時までに設 路、架空線の興急處置を飆へ運 路、架空線の興急處置を飆へ運 路、架空線の見込みであると

試合

日割變更

三の娘愛子に支地

英使明 4813 英 所 4813 山縣通 (7841 出張所 (8935 星ヶ浦 (9121 出張所 の2)

合

法大對滿倶戦を先に舉行

の最二百六十萬順と を加へ一千五百九十萬順と 水の心配はいらないとホクノ、喜 がの心配はいらないとホクノ、喜 がである、なは今回の増水五百九十 がである。なは今回の増水五百九十 がである。なは今回の増水五百九 大道原では當分 る間内道路は東西南部大連の浦絡 | 門の如く一部スケジ門頭場よりラジウム 温泉前に通ず | 遠隣側の都市転抗出 | 大通市所管に属する中央公園内東 | つた、ところが引き 中央公園の 道路移管

の一ケ年の人件費が浮いて来た職があっても減水のため手の施では降雨前 市内の水道が稍もすれば減る傾向 があっても減水のため手の施で依 して近く鍍管の掃除を行ふべく目 大連成食店租合役員有志十名は過一大連成食店租合役員有志十名は過一大連成食店租合を脱逃した

麵類部

飲食店組合が

麵類屋を計畫し

いま

の半値で賣る

反省を促す

發起人側の談

昨夜沙河口で支人運轉手が

省に陥り直ちに沙河口分院に続き な任司運転手は無免許なること到 が日間である。

不通箇所 全部復舊 満鐵の損害

察、金州間の十三里豪丁場附近は列車は一時間三十分遅延、二十里 不通となりしも六時十分開通、二 一十二時頃土砂崩堰上り線支障せ 漸く老妓は檢免

石に就き 設定人間は 動價低落時代の今日 動價低落時代の今日 動價低落時代の今日 整本間乗するに決定 を開業するに決定 を対します、これがやが になれば幸です です、これがやが になれば幸です になれば幸です になれば幸です になれば幸です になれば幸です になれば幸です になれば幸です

大藏理事微恙

宗 会氏は病気のため

納凉大會開催 法律時報

トとジョンジンに

いっていていることに

創業以

甘井子の水害 した機鼓の徹免方を潰て大辺等権人、

従來の懸案に大英斷

キット客ばれる

腺薬下し軍網線レール面まで浸一決定し十五月白川組合長を招致こ 樹落、線路化下、電柱傾き架空 野しては現機検査を発することに 甘井子埠別到新線築場十八ヶ所 野しては現機検査を発することに 按認等に関し組合の保護ある者に生孫に疑論中のところ、今回操行

エデプト 暴動起る

兇漢を殺す

夫の危急に妻が

市中は代南店とも戸を開し実像を 市中は代南店とも戸を開し実像を ・ 名に鑑してゐる部間塘駐在のイタ ・ 一観事も貨職した 軍隊で鎭壓

『東京十六日砂電通』十五日午後十時代市外上目然一四三二磐城 施は膝之助を郷兵場まで通れ出し短河を実つけて登設してあるの を眺めサクは直ちに高端が後から突き飛ばし高端の持つてるた短 を眺めサクは直ちに高端が後から突き飛ばし高端の持つてるた短 で高端の智部より突き刺し即死せしめサクは十六日午前五時日

・ 十六日午前十二歳になる愛くるしい支那少年が水上髪から山東同郷 日入港の繰丸でコワソリ青鳥から 日入港の繰丸でコワソリ青鳥から はまれたが、同人は十三 である。 ここようにからついフラくく只で おるもので背島の印刷壁の息子で のるもので背島の印刷壁の息子で

七月十五日より

青島から薩摩守をきめて

支那少年が一寸と大連見物

禁止など

地森川新平方無職土屋測太郎(三二)は十五日午前九時頃、市内平和街四三科亭愛縄立方へ登壊し朝から襲撃をあげて二十週五十銭の遊費をなしたが、懐中無一文で小

電気遊園下連鎖商店前空地に大連 電気遊園下連鎖商店前空地に大連 市民納度大會を開催すべく目下工 事を急いでゐるが、來る二十日頃 より開場の香糧の企理、洗戲場、 資本場別の香糧の整理、洗戲場、 資本の香糧の整理、洗戲場、 資本の香糧の整理、洗戲場、 資本の香糧の整理、洗戲場、 資本の一大快樂場と化するであらう

額排戻しは十

一日常籤。共に拂戻し期限七月中とお立會の上抽籤の結果七月十一日と決定致しました。お二十一日にお買物をされた店へ領收證を御持参下されお立會の上抽籤の結果七月十一日と決定致しました。第二囘半額拂戻し日は、本日常盤座で警察官及お客樣

大連連鎖商店 日に當籤 納凉催し物色々

立をモットーとせるワフド震楽新っの影がに依り死者十七名負傷者四の影がに依り死者十七名負傷者四

ともに不快を禁じ得ないところでともに不快を禁じ得ないところで見越て所轄水上戦では係員を増減では係員を増減を 機能機しで今夜の北大山通一幣の 海岸は彩像を波る人塗で満たされるであらう、しかるに從来との程 施施しを好い事にして不良支那人 塗が無板をもつて荒し廻りまだ織 を消えやられ程線を乗りまだ織 を消えやられ程線を乗りまだ織

外が区による日本にはある。

トなら

日午後四時半より行ふことになっ 日午後四時半より火災が戦の場合は二十日午後四時半より火災が戦の場合は二十日午後四 大タクの 電話番號

中澤監督と種々協議の

短籠流し取締

補缺トシテ西田猪之輔氏ヲ選任 出れて一番である。 通學用防水マント……」

「別大後も 紳士用レーンコー

を受賞工作工百個也 ・ 大学順の ・ 大学に関い ・ 大学 THE SOUTH THE SECTION OF THE SECTION

電話 三四 面白い

暑さも忘 6

太九五滿日廣告部專用

ズンビ 大頭大山頭 宅

天堂並風呂崎 大日本麥酒會社 特釀

間の有力額間三級に跳し休刊を命 働く妻に

失業の夫が

かたを十七日正式に購取願へ申請

され替て大連市會の問題にもなっ

人木部一六つしは内縁の要松行

職いてあるところを小端子製食に を行演し大は自暴日東の餘り毎日 を行演し大は自暴日東の餘り毎日 を行演し大は自暴日東の餘り毎日 を行演し大は自暴日東の餘り毎日 を行演し大は自暴日東の餘り毎日

腰痛中足の痛む脚方側 二五電大穴八八

0

本紙連載の

「艷色生膽秘譚」五場

野敢に即決大處分致しますからなって御用命を希ふ取新良品を總で思い「きり」安し

光禁を感謝いたします

この快報を各位にお知ら

の扱へおやし

に結人と

满

1、ちゃ

座りますが、姉の身の上

を整めては、第一の場合には、を整め内には充分膨脹の傾縮が整めて、第一の場合には、を整め内には充分膨脹の傾縮が整って追撃の一脈をはばみ、品川神らのものには、をというに関係を通らなかった。

には些かの怨みどころか、唯一の には些かの怨みどころか、唯一の には些かの怨みどころか、唯一の

たよりとして今日までお孫ひ申

「妙法院勘」

河部五郎の當り狂言

化され

ですか、ではとにかく俺が遙つ 左近は亮之助に一切をうちあけ の上のことだ。貴公 脚命に唱んだ。 「唯一覧申上げたきは姉の妙香、 気まで、清潔な一生を強り申したと まで、清潔な一生を強り申したと ◆欣願どの!かかる場合でなかっ さがった。 かぶりをふつて一生

で て四年、山形路のある龍場にて流 りなつてるる で 「旅人概三」は興味のある候客 しその死を能むの作 「旅人概三」は興味のある候客 しその死を能むの ま山形神道神楽は のの はん 一般 で 「旅人概三」は興味のある候客 しその死を能むの まい形神道神楽は かなつてるる

抱へて左近、暗然たる心に脳がふ 出し 「はい、充分について居り

徐職に鳴り響くは雨鬱の如く打。 欣爾は凛然と云ひ放つたり 部郎

(171)

ラヺオ

山 平 四

本文那語講座、第一 本文那語講座、第一 本介しモニカ獨奏(インゴテロン (ロ)軍艦マーチ(ハ)ダニューブ ワルツ(増本京平) フルツ(増本京平)

● 南大勢(一同)近所ばば(七年) 同大勢(一同)近所ばば(七年) 其の蛛お高(君子) 其称言(正美) 其の蛛お高(君子) 其称言(正美) 其の蛛お高(君子) 其称言(正美) 其の蛛お高(君子) 其が

夫)三味線(鶴澤 佐將監開居段)淨 十四日を切って敢然順

ジョン・王

三日間限り

山のテッド・マクナマラ氏珍演

○至る處の禁店にあり 本舗歐屬本林丁子堂

原督 佐藤樹一路

松枝つる子主演 松枝つる子主演

コゼし 神愛子・片海恒男助演 を注射評(否集・ を助三郎助演

珍味中心北京料理

大連連鎖的

名の巻

十四日よりお盆與り

品の一

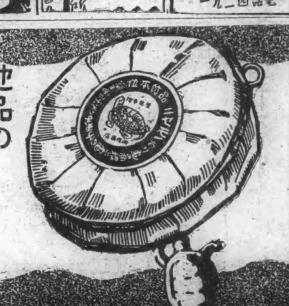
常 密 座

ライラックタイム選はいよく

ばいどく、そうどく 麻病其他の毒を下り つうじをよう 禁價五拾銭壹 す

徳用經濟: 龜の否束子は

す様に使用の時候り 原料を用ひ毛の密度 郷力性に常む優秀の 三倍保つ



変の経験には、薄暗い母下に味 変の経験には、薄暗い母下に味

來る十八日から歌舞伎座で **泗部五郎觀劇大會** 「旅人權三」三場、妙法院勘八九場 「え?すりや生命をすてる御覧悟

「配気どのが態度によっておや… と、亮之助が急ぎあしに近づいさう機関も呟いた。

のぞんである、この上此處に踏み一様し、放戦はいま見らるゝ通りの危機に 試ひつく 左近は双照につたふ涙を双手で ある、取り返しのつかぬ館

ての一生を終へさせて頂きたう存むとりも特たの甲斐なき身の上、どよりも特たの甲斐なき身の上、ど

た五三郎めが申分と云ひ 「立木茂之進が言葉と云ひ、

まり悪々しく歌舞を一身に集めてゐる 乗り出し人類を一身に集めてゐる十八日 1984年 1985年 1985

を裏切りし不遇が似でござります「お」、五三郎――あやつは主家 まつ

云ひ終らずして欣彌はむせび泣 門を狙つてゐたので圖らずも勘で、お小夜は我父の仇菅野左源太を同じく勘八の助力で討ち果すが、お小夜は勘八の助力で討ち果すが、お小夜は勘八の助力で討ち果すが、お小夜は一個八の助力を引き来する。 部五郎が扮して活躍するが、在官が決院膨入には言ふまでもなく心 第一、海草留門観音の場

きはお客が三人以上述入ったらや なって映画街で喜び▲といふもの なって映画街で喜び▲といふもの への揚りで一杯飲まうと活動機は とこっか近米にない大人りで館貸す こっかが嬢しがり雨天大叫神根々と といってもない大人りで館貸す 参方からは小降りと 変雨で野球はないし からは小降りと

面图像

配献合の大剣客

地下室

西

尾商店

軍手現金卸賣

山本洋行

全商品 浪速町の一角流 東百貨店 へ更に 大進出のため

せするの

河部五郎の國定忠次

して運命を終る女子ジューマー原作 公開開別大 0

付=造攺大內館

急告!!

急告!!

演休時臨

内小 科兒 刷 般

端日社印刷

手に力を要せずして

用として盛に愛用されたの総書よき贈答 他つて絶對に器物を る事が出來ます 解りになります なれば直に気情が御 これは實際御使ひに 衛生的包裝を施して 担傷せず然も厳重に

ありまして機に他品の三倍以上は永保しの三倍以上は永保し 微妙に汚れを除去す 他品の

本社主催で開催

久末(長春) 府騒別の眺朔池を やめて商品々種別にすれば異れ であるだっ

千秋さんの

運送屋振り

一覧山製線所長から網際連輸のなかつたが、敷年画迄搬資氏、物のことを多少畑遠のの感を興へぬでした多少畑遠のの感を興へぬでしたが、敷年画迄搬資都のなかったが、敷年画迄搬資都の

仕手關係で

産況

場電

件肉店問題

THE P.

株取りの一大な七月一

精洲見本市出品物は百五十順以上 に上り出品者の希腊によつては敷 であったが大部分は出品者の手に よつて豊勝かれた

銭信手敷料の

引下げ問題

が七圓、鏡が一株

相場(武性

志醫

公司本(大阪) 我なも内地では非 ・ 一 で 職ち 反動ではない、 然とも 内地では非 ・ で 職ち 反動ではない、 然と 会開 ・ で 職ち 反動ではない、 然と 会開 ・ で 職ち 反動ではない、 然と 会開 ・ で 職ち 反動ではない、 然と 会開

吉海打通兩鐵へ

對抗策を講ぜよ

四平街市民大會の決議で

各關係方面へ陳情

か川(補鍵) そこにゆくと東京 ものさへあつた。同様見本を得山

時間では、 一個では、 一個であった。 一のであった。 一ので。 一ので

命木(大阪) 会場が残く小間が小さ過ぎるのが大きな苦痛だつた、大阪艦では破別しきれずにた、大阪艦では破別しきれずにた。小い、小間も当口、奥行とももち

を田(大連) ※年は名所縣でも のはだけを出品してもらひたい ららからそんなのは随い減るだ ららからそんなのは随い減るだ のは、でするだ

依然として活況 本年中に百萬枚突破

本合としての低度は大変の希望を聴覚し四時間及び開 滿洲一等坐

大選米歌同衆組合十五日登表のは 大選米歌同衆組合十五日登表のは 八八につき二十銭の館下りを見た、 一個は保合である(一八は四十三近 検査等等 一八 十一個七十銭 検査等等 一八 九個九十銭 検査等等 一八 九個九十銭 大闘二十銭 大闘二十銭 大闘二十五銭 大闘二十銭

新永錢新商五 東新鈔豆信品

(前日敷比較) (前日敷比较) (前日敷比较) (前日敷比较)

油粕樂豆

本 ・ 中部 であることでは到底であったにあることであることであることであり、 ・ お親の特所が現状であらうが現状でありまれた。 ・ の情報であることが出来では到底領面が現状であり、 ・ の情報であることが出来では到底の特別を表した。 ・ の情報である。 ・ には一度である。 ・ の情報である。 ・ には一度である。 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ には一度である。 ・ には一度である。 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれでもり一でもり ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ になれて、 ・ には一度である。 ・ になれて、 ・ にないの。 ・ になれて、 ・ になれて、

大部分賣問

品物

銀塊安で

鈔票弱氣配

郭雷河南泉.

登 盟 新平高

公主職 舉 155 155

X外内

哈爾 《書 原



多少に不拘御用命下さいまするは弊店が満洲唯一の店で有制工品を専門に製造して永きものが出來ます

寄り下さ

教育玩具、文房具 衛盤楊電車停留所面 日舍

田小見科問題院

物用は美装して値段は銀行商店より安くし物用は美装して値段は銀行商店より安くしみます。 南野手で買物をすれば百圓の仕事でも 福頼は三越祭と共通祭と各店 福頼は三越祭と共通祭と各店 一庸

家 環 籠花ば 大連阿根拠近辺地

1=

限る

奥地市况(叶湖)

1、1三1、7人元人

新鉄豆信品柄() 品 東 - 2 寄現· 引中引席

新東[崙

会

オグペー三一十七期・棉

安高引寄河 豆 亚晶值值值值值集中音先中音

лялялял

東東路

六 京 留 留 記 北 比 比

在

東京期米 東京期米



大

(日曜不)

H

(部院医派黑)三即國公西市達大

田八八九四話電

死は体 實業之日本社 難想 資本金

、官話談論新篇 北平官話今古奇觀 北平官話伊蘇普喻言 現代白話交範 支那時文階梯口語譯法

費會 ☆月青

金五五四五十二四五十二

线线图

经经经

∰十四 网 競技表

一ヶ月一粉刊行

▼東那語基礎と會話大全國1%28 トルを東語の字引品・気

申込 ※配本處 大連市設建町 **操教建二三七省** 書店

主幹 發行所 飯 河道 (本店) 東京(安店)京城・奉天・峰順同常。零(連鎖商店街)最善大連二二七個監督、東京・八八番・東流五七九〇番を監督、東京・東京・大連 市 浪 速 町 振 替 大連五元番 那 雄 實代生產 護 非 馬 双語 全

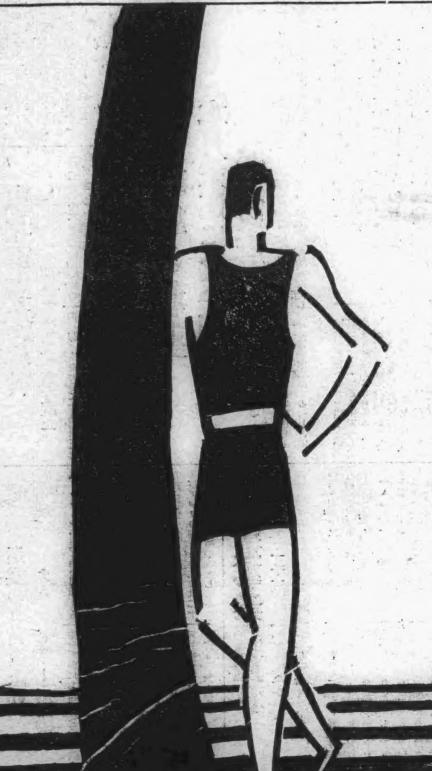
大阪屋號書店 冠標機 各 書 店

KKK

華民國大元帥 大 將 張 作 承閣下題字 陸軍步兵大尉權寧世著

中陸

にあて



店帽製野西

謳; よせ歌

> 健康創造の美酒を 潑溂たる肉體美を 飲め!而して 味と滋養の蜂ブドー酒! その強測たる健康を創る美 健康は人生唯一の至實なり 謳歌せよ



品質

医木管兵体谷 种語元流

人生無上の幸福と健康を!!

店商衛兵利蘇近設定發

「何でも御利用下さい 門解で御旅行の事は

家庭教育振興と

青年指導に努力

内地は豫想よりも不景氣

難波教育主事語る

を保すこと、なった あのは連かに認可し既に認可せ ものは連かに認可し既に認可せ るものにして工事に着手せざる ものは運がに認可しな出願中の をのは正常に記がして出願中の をのは正常に記がして出願中の をのは正常に記がして出願中の をのは、これに記がして出願中の をのは、これに記がして出願中の をのは、これに記がして出願中の

都合で取止め

獨逸**參加** 古は不參加 古は不參加 十五日發電通)フランスーである

は十六日午後本部に開會、勝田主した。『東京十六日發電通」政友會の新一批委員長より終期を述べた後意見。『東京十六日發電通』政友會の新一批委員長より終期を述べた後意見 歐亞聯絡列車から 政友特別委員會で決定

共産主義は全く 怠者と乞食製造 マルキシズムは歐米で廢る

果れと射縁ひゴロく 市中に腰で ことである。と極度の悲劇歌のも失変者は市中に領行しゃスターのがない、日本のマルクスボーイかも失変者は市中に領行しゃスターのがない、日本のマルクスボーイのよりも高いには驚いた。し 玄食を観話した以外何等職めるものと1ルー本が一関で世界の るる表は事實共産主義は意情者と

ーズの完成に悪進してゐるこれの完成に悪進してゐることの程度にまで

和書材料は仕入れて来たが目が完成すれば偉大なものでのが完成すれば偉大なもので

獨逸では賞讃

高粱畑ご新經

社

設

大統治する | 長山のである。 | 株とりして、東北四省の 、最も適當 を確立すべく、修々たる を確立すべく、修々たる を確立すべく、修々たる を発達する | 再級を注がれんことを図

の機能を授けられた博士職求論文」に像とすべきは穀が卑職中傳機事で非常二郎はは今別法根博士」は複纂に関する実律論である

同士と一のである。

徴兵保険ご

一、後兵保險新爽的のりまで、 保験局では之に除し 保験局では之に除し 大が成場ではこれが成場ではこれが成場ではこれが、 表者が小泉源・を始め場ば各川を

けずほろりと同情せず

時衙外既長

見保険ご

關東廳實行豫

算の

節約額は百

萬圓

の原因は大自身にあると稱してる

「東京十六月愛繁通」 遊信省では
東京十六月愛繁通」 遊信省では
東京十六月愛繁通」 遊信省では
東京十六月愛繁通」 遊信省では
東京十六月愛繁通」 遊信省では
一であるから微兵保險と利害綱突
へなったが、之に難し民間徴兵保
となったが、之に難し民間徴兵保
をかり反繁無勢を掛け十六日代
の原因は夫自身にあると稱してる
の原因は夫自身にあると稱してる

事態にては廿二日支那艦常局を招

アメリカの要求

ひはコレも御木人の話によるとで を平の今日、この左利きの名。 を下の今日、この左利きの名。 を下の今日、この左利きの名。 を下の今日、この左利きの名。 を下の今日、この左利きの名。 を下の今日、この左利きの名。 を下のかださらなるで有名になるなる。

始めて公開さる

巡艦の口角引上げや

テウロドネー型建造

支那當局を招待

院し一ダの膨<footnote>観察を開くが、八木 標面を開くから、八木 原本圏は別に政治的副體ではな いこと素よりで社を的のがルー プとして恒に國際的懇談を基制 として組織されて居るので南京 をして組織されて居るので南京 をして相談を開くが、八木

● まといいはできると、 できな、イザといいはの合理がある。と のが武家の作法だったとある」と のが武家の作法だったとある」と

兩三日中に各

植民地ごも決定

正式参議官會議は

小週早々開會か 今週中に非公式會議を開いて 軍部の最後の態度を決定する

「東安十六日發電通」海軍巨戦台 | 企業後非公式総議官倉職を開き取 | 式参照官会議は目下の総営中の過程を決定し、正式官議 | 都合を伺ひ、來選早太開かれるも | 東安十六日發電通 | 海軍巨戦台 | 企議後非公式総議官倉職を開き取 | 式参照官倉職は目下の総営中の過

六十萬圓を節約

有料官舎は俸給の一割徴收

汪精衞氏愈よ北上

は、「アシントン十五日命電通」まる。本を明かにした、師今回發表されたが、之よ、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・八隻を繋がせる事、大型巡洋電・人を選ぶし、且つ現存大型巡洋電・人がフェリカ海軍人令部では二十の日角引上げ等近代管備を施すと、大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型巡洋電・大型では二十の日角引上げ等近代管備を施すと、大型では、100円の開発に、10

現物後場(配位對 時半 高為 118名 118名 118年 高為 118名 118名 118年 高为 118名 118名

本月末迄に北平到着

北方政府組織に着手

鐵道事業費豫算

一千五百萬圓に決定か

新規事業はない

大藏省で具體案決定

参議官會議の答申 政府當局は前途を樂觀

・ エロの第五大母歌正明 1 東府側は十一之れに依つて生ずる碌局の前途及 されに依つて生ずる碌局の前途及

平井検事に

(村) 第二 新經濟域策に件よ教育制度との の改善(主査科関洋石) (村) 第二 新經濟域策に件よ教育制度との の改善(古積圧一郎) (村) 第二 類內經濟策(內田信也) (村) 第五 金融、續道、電力、開稅 (中)工業 (中)工作工程 (中)工程 (中)

ステース日發電通】大戦院頼低「我が観兵保險と利害観察し多大の「本(目下交渉中)の俗談兵法。 は、野神・士授・興 いて電施電影中の小児死ご保險は「関係兵保險を始め築」、同 「東京十六日愛電通」源信省にお 「打撃を受ける結果とたる協

失業日傭勞働者の

應急救濟施設要項を決定

失業防止委員會特別委員會で

本決めの總會は二十三日開催

匈兵保險業者が陳情

ふ教育制度

小見保險に反對 の途につき本月末窓には齎手の豫戸で八月初め正式擴大會議を開催し政府配機の本筋に入るべしと徹の途につき本月末窓には齎手の豫戸で八月初め正式擴大會議を開催し政府配機の本筋に入るべしと徹底北平十五日發電通』改組派代表の下に遂した報道に依れば正統郷氏は既に香港を競し日本郷由北上

莫全權に全般的 交渉權限を附與 先づ大使交換を承認

大使を拠を承認した。これは南京「たらした」とは登場を承認した。これは南京「たらとして野内騒乱を飛船であって、の露叉正式会議に莫全職は全般、策と見らる十五日モスクワから支の露叉正式会議に英全職は全般、策と見らる十五日モスクワから支のの露叉正式会議に英全職は全般、策と見らる十五日モスクワから支

日間に促成質素教育を施すといふ 議事項では管業教育事任の観學 が見込む入よりは二千萬圓減を見 関に促成質素教育事任の観學 が見込む入よりは二千萬圓減を態 別では従来歴を論讚されたい等決職 地で今後は で今後は でのと見られてるる 大 でのでにでとでとでとでとでとでとでとでとでとでととで失定した

入學卒業の際

寄附は絕對廢止

當局は實業教育に頗る力瘤

長尾視學官語る

長村上義一氏は近く滅鐵理事に就 英政府再び敗る 低するに内定した

の無数に常り百六十八票第三十六の無数に常り百六十八票第中に二個新聞の原理を挿入する修正を受話するかとであるが護形は今や右修正を受話するかとが護形は今や右はならぬ事となった、本日の既北は政界の危害を確して、本日の既北は政界の危害を指して、本日のにはならぬ事となった、本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬ事となった。本日のにはならぬきにはない。 ス上院は本日政府提出の競銃洪衰 炭坑法修正案通過

はるびん丸船客

すものと見られる。

人間豫定定期船はるびん丸の主な【門町特電十六日数】十八日大選 安高引寄

豆

大三 五三四六後 大四三一四五 大三 不三三六一巻 大四三一四五 五五 大五〇五引 〇四一五四四 〇〇中〇六十〇 (第三四五〇

村上鐵道局長

滿鐵理事就任說

(十八日)

大人人大文 六六八七新 〇〇〇〇

本語等左の如し 「〈京大教授文博〉有馬鍜吉(有 「〈京大教授文博〉有馬鍜吉(有 「〈京大教授文博〉有馬鍜吉(有 原子雄〈音樂家〉赤溪正助〈前代 藤秀雄〈音樂家〉赤溪正助〈前代 藤大中尉〉本橋謙吉、「香柱和一郎 兵中尉〉本橋謙吉、「香柱和一郎 「河部五郎〈俳優)」

たものであるが然し政府が歴度を たものであるが然し政府が歴度を たる にはまだ数日の総常 たる にはまだ数日の総常 たる にはまだ数日の総常 に 一時間 労働係項を 有する 炭坑 決減を

勝田五郎氏語る

英國では扱下

赤いロシャについて 金生善造氏語る

食糧問題は

大概の職者様のの紹子本学 臺灣で解

近く領事館設置

支那側では臺北に 領事館設置方希望

| 東京十六日教育画 外教者でエ | 日の希別を年公使を通じて外務省

「政府に破事値を影響すべく州 ついあり、近く實現するものど見

「政府に破事値を影響すべく州 ついあり、近く實現するものど見

「政府に破事値を影響すべく州 ついあり、近く實現するものど見

「政府に破事値を影響し度き

戦つて異る魔を見た者の話による のはいつたコップ

が職者まで左

寒天輝では本年最初の試みとして 環内における貨物盗離防止の ため一西が四百間もするといふ 番犬十四が熊々大連から十匹も

會議區長打合

等一切の世帯道具が揃っ 大舎も建られ食器、食物

來月から使用せん

の中ご主人のためご摩公するのだ ので係践も我を忘れてお脳の始末 中ち重複の準備に急がしい何れそ るといふ上へ下への大騒ぎ

率天車幅事務所管内職長區長の打一

(1) を天侯は恢復せず時折 つた、附野地でも が変定 は終日排水に代 十数月の影か家屋を が変になった、併し際 附野地に応じ高地で は終日排水に代 十数月の影か家屋を

- 見たるのみで出水せず、(性)て に 関は新城子率天附近に少量の間を の関を の場では、 の場では、 のはでは、 のはでは、

谷學校も臨時休業 した、今回の洪水

天津より管口向再移出 高 名 製量 調酬の子 ニュリン発料 ー ニス

天津樹を前じて北支那に備入せ 六月中金融市況

石岡氏送別宴

素晴らしい今年のナイン

生紙樂越麗木山刻賞 卷 歸皮園 皮草器雖耳袋輕

吾其

マんした小口の皆 配仕人には 関品が、更

ルモラ

ものは、使に左の 文國庫收入骨温の必要上、輸入所 質量主は、開発保護政監の政策と 度は、関係保護政監の政策と 変形の語 ヤロの四 年上半期のそれが日本上半期のそれが日本上半期のそれが日本 本の歌波

く、其の生産條件に適合する限り ることは、日本の大陸的經濟政策

上地郷の日本戦支援基の輸出の 近時の未曾有の観安と、職入既近時の未曾有の観安と、職入既 野島統治森を見る人の驚くところ

及び財際法人設立の件につき聴飲

満洲豫選を前に 無中の陣容 投手生田を筆頭に

日満了のため何れも母校に、何かたと出張中、グリし太田剛平、《公職学》との帰氏は神で、《公職学》との帰氏は神のない。 京房店公野堂の鴨堂木年中に報歌 京房店公野堂の鴨堂木年中に報歌 ったが郷敷は百八十米城なりと

飲もの」料金 警察と組合の意見一致せず で賣る 日本 と 四十五銭に置ってるる場もありそれで十分採集にも合ふのに膨み五十銭まで値上げしてまで職可するが要はないとこれまで組合機代表のである。 世で警察艦では現にビール 関を定めて職可して買ひた 天 を要行するため遠征の途に輩で水水県動物の試みとして全京城軍と來る二十七を要行するため遠征の途に輩と來る二十七とになり毎日午後四時から不能試あるが京城軍は今年に至って内地よって内地よっての野ひ恐るべき。

藤行鵬一行十名は目下北安那地方 を観察中であるが米る廿日夜北駅 はにて北駅河より米華同夜北行北 が米る廿日夜北駅

済録額グラウンドに於で花々して、 込み同日より二日間毎日正午かかっ

一百餘名は來る廿三日率天に乗り

乗りは既に十一日来撃し世間深り暴行することになったが一行の生

古老連の座談會

速記

して、永久に保存

水泳選手の遠征 全京城と龍山で競技 郎、川野末男、高木正次、宮原松平、森田茂

石田福吉氏と共にその護師を選める市中の人類は非常なものでである市中の人類は非常なものでである。 南一行中の玉錦は昨日を設する時である、南一行中の玉錦は昨日の玉錦は昨日の玉錦は下五人歩きばいる。

寄附電話

長

全滿弓, 迫大會

萩原斷然優勝す

わたり弦鳴変か

募集中止

相場低落のため

を作りこれが實際價値あらしめる等)の料金統一のため料金数圧級

不耐 影地飲食店の飲料水 ヘビー

は既観の通りであるが認識によりを天蝎に歐可願を提出したこ

日本潤廿五銭から三十

日も日石組合長が東天髪を訪れ

きものあり一方家天では悉く地

てゐる多分願三日中に聞くやうに 供相撲を開始すべく趣願を本年も恒例により寄日公賦 行にて京城へ向ふと 右九名は十八日十五時半安奉線会

看任 十五日朝安

者の交渉は確まつてゐるから

近く昌圖で銃殺されん

新兵舍落成

時代は 関係なったが、 なったが、 なのが、 ないで、 は、 ないで、 は、 ないで、 は、 ないで、 は、 ないで、 は、 ないで、 は、 ないで、 、 ないで、 ない

當地の支那里商百審堂、東部、橋 配外九名は新野銀分の田海せる胡 記が大名は新野銀分の田海せる胡 で大を振して土地域下手御中で あったが同地の官館が積暴を極む るのに憤慨し何れも見合せ簡楽し たが官域の観察に斟からず憤慨し

廿日頃迄に移轉

大年は宗典を中止した 大年は宗典を中止した

- 三年振りの豪雨に

嶺

至市、泥海 と化す

政府において銭数に橋する由である原産の総合は近日中島の解系は近日中島の解系は近日中島の解系は近日中島の解系は近日中島の解系は近日中島の解系の一 俳優の自殺未遂

本権の客に接するを好まず同家で 本権の客に接するを好まず同家で であったが、去る十三 の飲食店を賦工業と馴染を重ね爾の飲食店を設工業と馴染る力の飲食店を設工業と馴染る方物味

長春室町小家校では來る廿五月から五日間づく二期に分けて四公職の「大田間づく二期に分けて四公職」では来る廿五月から五日間づく二期に分けて四公職」では来る廿五月から五日の職員では、一日の職員では来る廿五月から五日の職員では、一日の職員では、一日の職員では、一日の職員では、一日の職員では、「日本の職 法律短期講習 と熊岳城行き

た 仲し一勝一版八回裏の離取の機変だ。 中心一勝一版八回裏の離取の機変が 「中心一勝一版八回裏の離取の機変が 「中心一勝一版八回裏の解取の機変が 「中心一勝一版八回裏の解取の機変が 「中心一勝一版八回」 速に個勝せり機過及びメムンパー

平 中井藤藤野倉山村連升 中井藤藤野倉山村連升 日藤伊佐小片閣今磯松

商工省日新義州說 東

上京委員よりの電報

公學堂の 瓦房店

今月行事

正 元房店公庫室に於ける七月中の売事は大館左の通りである
本 短縮事業特別指導 ▲ 製鋼・車 自治會、生徒)役員會 本 単級研究 自治會、生徒)役員會 本 単級研究 住の陸上競技製抗試合長期体表 に付終業式等

既に夏枯期に入る

総言城山、大陽影響。同玉飯二行 海野巡察の途にある日本大相様にあ 廿三日乘込む 樂しい野水落

風で之を昨年の同期に比すれば四

(可認物距離積三層)

配ケ瀧海酸緊落に殺加りべき報 に兒童、連出發

財務の見識は十六日朝五時中列車 で何れも父兄多数の見強りを受け で何れも父兄多数の見強りを受け で何れも父兄多数の見強りを受け で何れも父兄多数の見強りを受け

緊縮宣傳映畵 廿五日演藝館で

十分より製山航線館において入場無料公開すると 宣傳並に國民精神作與に近私經濟緊縮委員會の主催に

▲聖上御恋幸復興の管都へ聖上衛院幸復式典▲秋父宮殿下御渡場県▲二つの世界上御民▲二つの世界

見本市 灰土 大瀬で開催された見本販売が招待で長春軸 された見本販売が招待で長春軸 された見本販売が招待で長春軸 された見本販売が招待で長春軸 とかが、商品の更大のは日本時

見本市成

街

地少年 脚少年 脚と が大来る十八日長 が大来る十八日長 地少年度と成れて

河子行

市民会長加世田郷一郎氏は十三日市民会長加世田郷一郎氏は十三日市民会長加世田郷一郎氏は十三日小坂祝弥大官と会見、水量問題よ 小坂次官に 最後の陳情

電線泥

移動緊密の約につくと 二時五十五分酸に引擎され三十一日 名は屋ケ浦へ、更に来る二十一日 名は屋ケ浦へ、更に来る二十一日 名は屋ケ浦へ、更に来る二十一日

十三 昨年の 下海には力はあった。 一本年は 柳田教諭の機関と先 大の指 寧で戦日 一新の 一本年は 柳田教諭の機関と先 の好と時と

見童の聚落

活躍版が期待されてゐる、なほ同

振戦的戦闘は十七日午後 と時で り同職会において呼吸は徐 を開始

文字辻本原

■ 要型制定に関する件(木麻 ・新振順の鼓膜に費せん こする ・新振順の鼓膜に費せん こする のである)

百長に随星する一元

て
居る

の經過報告並に阿押

意見を表明する概りであると語ってるたがその成行は注目されてる

一衛内第三本・人の上屋根が全部吹一地の日午後十二時半頃から客天附 上星雅

蘇家屯驛の

行ひ具成績を以て午後二時半終了。 行ひ具成績を以て午後二時半終了。 たおいて略種の想定の下に減乏を において略種の想定の下に減乏を において略種の想定の下に減乏を 爆破演習終了

・ 生活を強った兵職さん窓もやつと
生活を強った兵職さん窓もやつと 室町校兒童の 林間聚落

軟式野球の覇權

四日午後五時代より指半職隊 野球、職衆は試合開始前既にスタ とに依り職職は開かれた、絶好の とに依り職職は開かれた、絶好の とに依り職職は開かれた、絶好の で表別の大井主制のプレ 遂に驛軍の手に歸す

▲特別評議員推薦に関する仲 ▲協會優房ポイラー室附設に関す 五湖嘴視察

学院店民政文署長徳田公建氏及び 開係者一行と共に自動車にての一行 開係者一行と共に自動車にての一行 所に出張、同地社上公司総子の一行 時に出張、同地社上公司総子の一行 時に出張、同地社上公司総子の一行 時に出張、同地社上公司総子の一行

領事館附近の家屋は全部浸水

に叱られ直ちに総柄酸艦を釣しブランコ往生を逃げんとしたが王東 ランコ往生を逃げんとしたが王東 が同家へ帰け込み大騒ぎとなり記 でして手常を加へ高く蘇生した 「して手常を加へ高く蘇生した 「との宝沢」を開に際し小事 校文兄會へ金二十周、青年関へ金 十個を寄附したと

28計25

防水初會議

到支貿易の伸展策 関東州と天津を利用せよ 林陽之助氏卷

更に天理向け再移出せられ

れた外國品の中で

は日本品である

左の踊りの商品があ

大脚より満洲向け総出の支那品

精油二二元擔

は既に夏枯れ略散物に入水(間)化 親上の如く特別に

大會に出場する準曜中職ナインは はものでほないが 取子院の全國中等校設身景大會の 十九日十八時四十分登にて赴道す で 大会に出場する海州連選 る、瀬中テームは千取萬暦の古つ

....(13).....

0

上戰術的清算 K,O, #

潜航艇公司

- 局院克穆岡

本解戦、東郷元は、大西郷を有しは臨功行賞の常否を取て言ふものにはないが、日本の政府査びに記して實験を知れらやを疑して實験を知れらやを経

を であるが、共の國の上流者と夜舎 であるが、共の國の上流者と夜舎 であるが、共の國の上流者と夜舎 であるが、共の國の上流者と夜舎 であるが、共の國の上流者と夜舎 であるが、共の國の上流者と夜舎 であるが、共の國の上流者と夜舎

神統二党夜下統二日を践するに過 のン二隻あり、ポリヤード共和國のシニ隻あり、ポリヤード共和國のシニ隻あり、ポリヤード共和國 は行を貸す、外に貸物器數變あり

電信は目下既 茂工

の前年(?)にも一早番出出の前年(?)にも一早番出出の前年(?)にも一早番出出の前年(?)にも一早番出出の前年の最近事がある、此人の廖毅琳が一萬元といる。此人の廖毅琳が一萬元とものである、此人の廖毅琳が一萬元とものである、武して小原校には起き辞しる。 「は日本政府から一人前郎には起きる。」 「は日本政府から一人前郎には起き辞して渡を行る。」 「は日本政府から一人前郎には起き辞して渡を行る。」

ロシ

いふ、此類概は製して今の智識階 に萬丈の氣焰を吐いた青年は明治 二十七八年、三十七八年の大殿を 野った、変親。サイが1や遊成灘 を吸び洋漿に瞬酸する今日の青年

が、そこにさょつてゐる一本の短い、まるで傾付けにされたやうない。

一つ供し、併し、あなたけ 野原の子だー」

これがあなたのお父さんの殺してとれがあなたのお父さんの殺し

スが激別の空で、

な数して了ったあなた

一次によったしはこれで春日かませんよ。あたしはこれで春日かませんよ。あたしはこれで春日かませんよ。あたしはこれで春日かませんよ。あたしはこれで春日

第三十萬基米に上つたり、故障 に七要、負傷一名に過ぎず、 を回れる際は深さ入来、種 三十米の孔を辞つてその恐るべき取力を示した。 られ、少兵部隊に對する指揮連 を るに至つた。

に な最大の飛行機域として を な最大の飛行機域として で で に に が に に に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で に が で の が の が に が に が に が に が に が に が に が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の に 。 に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。

ありませんか」 助良子の都々しい野歌はまるで のできに織く。 花子は何か言

たい。この女が翻測の会で、窓腹 で大金特だの維養家だのと世間の で大金特だの維養家だのと世間の

れてるる女の間に出來た般……それてるる女の間に出來た般ニの唯一人の子で行はれた春日龍三の唯一人の子

れを指いて他に春日龍三の子供がれてゐる女の間に出來た熊……そ

にも膨胀に振いて来なければならした事だけれど、それが、こんなした事だけれど、それが、こんなした事だけれど、それが、こんな

入口 多国 はいり下さい 一、一回を記

生 (14)

0

大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科上で居ることですから夜間だけでも掤撃機の演奏をして居ることですから夜間だけでも掤撃機の演奏をして居ることですから夜間によりでも掤撃機の演奏をしているのです。

乗用に供すべしと云ふ、予はオラ も今夏六月より再開し職大旅客の も今夏六月より再開し職大旅客の も今夏六月より再開し職大旅客の

展を補の西藤原に、今年 をいが、水泳と云ふ見地か ないが、水泳と云ふ見地か と、あまりに遠くまで歩き と、あまりに遠くまで歩き 最高三米でのものになって了る日がイダの実験さを味ふことも出來ないし、と言ってスプリングボードが附けてないから、ファッシイダイダには不便である、結

をこんなに苦めるのです。一體あ

カにシベリヤ 観道に凝より外歌

機を目撃せり、オランパートルグに於て沿線より飛行し来れる

たと全く同じものではないかって水水……」これが慰ろしいのですか。この人形が一一これはただの人形がのですよ。でもこの人形が一つこれはただの、一切が出ってるます。殴ろしいであたしの呪ひのいぶきがからつて

撫順事件を想ひ

機器を含しつ」あり

邦人の決意を促す

3

幸天

分らなかった。 5外らす事の出来は 何を考へる事も、 言って いるのだし



亂步作 (143)

飛

なたのお父さんにとつては何でも来たあなたなど。春日龍三にとっては何んの関係もない、野合の子と、一私生見、それがあなたの上にといったもの子のですよ」。 あなたのお母さんは、だから、生は本常の、唯一人の要なんです。 藤幾久造畵

であるとあなたはもつとく一苦んでも て来た苦痛、風犀――それを考へて来た苦痛、風犀――それを考へ

間きながら床にうつ伏た。 ではその壁を地獄の葉火の中

少年中年に多い 胃酸過多症

腦

あなたは私

胃癌の原因

人たちと何の関係があるのです。 回んの鞭利であたしを……そんな 回るはしい名で呼ぶのです」

世界的の大家たる山崎東土の変表によれば、胃煙の本盤に大て居る、塩脂の研究に於てによれば、胃煙の本盤に大田を変化し、更になって胃臓腫し、それを早く限治せぬと中でになって胃臓腫と呼ばれば、胃腫の本盤には胃酸過多症と、更になって胃臓腫と呼ばれば、胃腫の本盤によって胃臓腫を誘致し、迷に死の動脈をとる。

とではない、故に十年も二十年も 一年ではない、故に十年も二十年も 一年ではない、故に十年も二十年も 一年ではない、故に十年も二十年も 一年ではない、故に十年も二十年も 消化不良症

の名にかけて復野するのです。なのない。だからあたしは、此の女

特・然に治療で、場合を実を非にしるれの、製物を持ち、自然に治療で、場合を持続し、自然を表する第五。

下富坂町二〇

毒 **些發展**

他用大幅を御使用になれば値段も大種お安く

な出血して生命を 自家中毒等から起る胃酸過多と動脈硬化 庭 最も多 衞

味のよい 三拍子

お徳用リ

韶

連市機町中村景太郎

庭に打水

浴後の

一杯

胃病の中で胃癌に大くの悪性の病ででは、一致の性の性に進行する傾向を有してれが大寒に進行する傾向を有しては場合は、

のである。又 能が旺盛になりて気根を一掃する 能が旺盛になりて気根を一掃する をである。又 胃アトニー症と 胃擴張とは

市區村落に現存して、プラコンの市場付落に現存して、プラコンの 市區村落に現存して 皇演奏タブコンを原因 一 天下至る ところの するものであ

のめば飲むほど胃が筋の強機を引める。本郷を運用工れば其日から強 智陽の機能を復活 がが蓄積されて、 しめ、 平臓を学受し得を治療し、

『タラコン 十錢、二圓五十餘 一の藥價 で、慢性徳用 十二鎮 極

あり を名よ

本症は胃癌と誤られ捨ておけば癌腫にも變症する 胃腸病の皇漢療 擴張 恐るべき胃潰瘍 して治療に導くのであ

酸異 發毒生物 に異へず、一種云ふにいわれぬ慢に異へず、一種云ふにいわれぬ慢になが果がある、それは學理的政策を失つまでもなくあらゆる療法をあるがある。 り、化野薬の近く理刺戯を胃粘膜や牧飲剤や、常化剤等とは全く異なり、化野薬の近く理刺戯を胃粘膜を

疫病を媒介する恐ろしい蚊の犠牲となり易 無心に眠る小兒の肉體はマラリヤ熱其他の 眠る前に必ずフリットを撒布しませら

危 險 て而る人體には





の今嬢は訪

权

入

帽を描くここが

水める恰野で右手を第出し、

失識ですがあれたは僕の奥さんではありませんか?」

生活の旧顧 生活の旧顧 生活の旧顧 大正十四年夏であつた、その年歌 大正十四年夏であつた、その年歌

10 9 我要公給他們 8 您要送到哪兒啊

到哪兒啊

1これは誰が置忘れたのです
2 私が忘れて往ったのです
4 エ、、私は今思ひ出したのです
6 何故ですか

婦人 病大連二葉町六〇

1月 各ポール卸

譯文

海のテント

第四十九課

實用支那語會話 蔣維州為與 新維州為與

ラデス

9 私は彼人達に渡さうと思つて居と貴方は何處へ届けやうと思つて居た所です。 居ましたか

受町発育炭湯治院 合百事吟撰

大連劇場効及

クサ 及胎嚢の特 クサ 及胎嚢の特 及胎嚢の特

モミ

療治御絶みの方は

『マアこの方は…

三人は目を丸くして笑つた、桃士はテレて見さがった。

元滑子さんは本年十六歳、復形の元滑子さんは本年十六歳、復形の 79年 高女三年松祖の見 師を聞いたので気 元さんの間にも

見元清子さん 全者七財氏は自動車の輸出入商 で五人兄弟の内たった一人娘の清 の人形や机等を働きちらしてゐ ましたが不思滴に 私等

何より好きな は時さんは漢子さんの数章には 可成り熟心なもので 「漢子は英酸が誠いものですか ら今は其の方々心感致して居り ますがそれで時々私が聞いて外 織しさうに話す。 も世央公園で食生



デして下さいました○本人は未 たの男の方が通りがよりに清子のの男の方が通りがよりに清子の が忙しくてで常緑り御も描きまだ在歌中ですから今は悪校の方 せんが、 それでも描かしときま

つて滑子さんの鑑才は益々伸びてとの言葉い通り良いお母さんを持す。 したら一日中でも描いて居りま でも入つて専心に習ぶつもりですがないたから野校に訪ねて行つた。

カフーに向下に向卸文小智店方至急来談播勢町一一七相互社方至急来談播勢町一一七相互社

通勤家政婦 (家事一問) 一日

質印の御用命は

活七八五九遊

不用

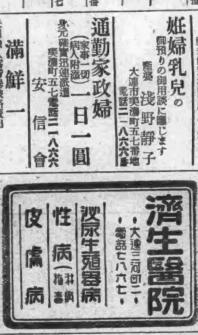
「私下手ですから迚も取目です」と未だそんなこともない無邪類さだ。 彩色の方に解來仲びて行く傾向が 傍から先生が 「見元さんの織はおとなしい方で 中古 西品 界侧葉假券買金融

高校なさんの歌の 白帆









石井家蓄病院

淋毒 性墨丸

チチモミ大連市

電話四六九二番





第一報次第級上致します 御一報次第級上致します





高品付八五脚より百五十四左 支付五五脚より百五十四左 | 「一九九、一二一派曲

女中 教名入用十七八才より二 女命 気入用 常総橋デンマヤ 赤テル 電話七一 五五番

かず口仲町九一 向上 社が可の仲町九一 向上 社がのでは、

の五、永島電ニー大七八小替致升、大連市漫路町利安く最も永く

枓

東マッサージ院 「男女研究生」、こ名採川) 「男女研究生」、こ名採川)

お 灸



(此方法では物理製上和茶に或ら 方法を魅行するには物理製上和茶に或ら 方法を魅行するには教育者と被教 方法を魅行するには教育者と被教 方法を魅行するには教育者と被教 に氏願者に難しては目的を達するが故 に氏願者に難しては目的を達するが故 を要するが故

言語を再生し

され脱交母その他に避難したり或あって色は黒く夜間は居なが、屋あって色は黒く夜間は居なが、屋あって色は黒く夜間は居なが、屋をのぞみ得る粗末千萬なものであをのぞみ得る粗末千萬なものである。

石けり

牛乳

田 冬 子

指符

個人の方へ行きその中の一番活い、一番美しい婦人に向ひ屋子をの趣線が静かに後女等の方に注がれる、今まで何か考へ込んで客の趣線が静かに後女等の方に注がれる、今まで何か考へ込んで客の趣線が静かに後女等の方に注がれる、今まで何か考へ込んで 僕の與さんで 6 次

H

たる事を充分承知して居ても口話 作ら私が見べも述べたい事は此種 の特殊教育には觀聴見を相手にす るのとは遠ひ生徒数に比較して漫 が外の多製の教育者と全瀬の費用 吞、野菜入郷、監油館、軽小組 パン、新館、パケラ、甕縄、湯 キ製桶、片口、タワシ、フライ 紙、脚で、き、長腰掛(壁宮用品、電器用紙、駅紙、封筒、 高、電器用紙、駅紙、封筒、 高、電器用紙、駅紙、封筒、 高、電器用紙、駅紙、封筒、 高、 テント、アンベラ、ローソタ立

こ、生活に拘束なく自由なる天地 は、生活に趣味あること などによってその生活が不便なること 三、同經費にてよい食事がとれる ため海岸に大幕を張り十名宛交代率中と合宿しその一方にて經驗の

・ 墓生活のみによつて夏季海頸栗 前後二十日を通じ雨は一度も来ら 翻する有様であつた、翌十五年は 容することにした、その年は幸ひ 響し他人の分まで代つて福泊を志 達したるため前後二期に分つて收 響したるため前後二期に分つて収 よい思ひ出であった、むしろ平凡のよい經驗となり且生徒としても

く、そして酸水自然の駅安に登乏して行く、この流れに抗するものは自然に関る生活ではないかと思いる。 澤は人間生活の質劇さを弱めて行 日常の必要を通り越した虚節や實 日常の必要を通り越した虚節や實

下宿

为灸

町五丁目二〇一番地では中海の地域のリダッドでは、アラダッドでは、アラダッドでは、アラッドでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは アウルでは、アウルでは アウルでは、アウルではでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルではでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルではでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは、アウルでは

京文文 中別派遣 四公園町五七 中別派遣 西公園町五七 共 済 宏 電三大六三番

伽科醫院

がに要角自修寮電ニー 「個料金廿五圓より 「個料金廿五圓より 「個料金廿五圓より 「日一九」 「個料金廿五圓より 「日一九」 「個料金廿五圓より

を にそれた。 石足上げて

賃家 瓦斯風呂電

壽司 産婆 楽は

活七八九三番へ

ニチ 年到 なら大正敗む 小男八四番 **薬及治療** 連町一丁月裏通 日露洋行 見活三三八丘・三八七

により雌く起った財子失敗は後年により雌く起った財子とこの不完全な設備

お空のやうド

、只管雨止を待つた事など伝 とご朝意も十一時頃までなし たこともある、或る時は炊事

まる石けった

ともせず夜明を

片足あげて 石けりけった

牛乳

タイピスト短期輩成

第洲次場 電話ペー三四番 電話型五三七番 高温 高額の御用は迅速で製込 水日本機高質館へ身を機 が日本機高質館へ身を機

本 東京式桐童笥 本次の月月賦練現品前渡し 本次の月月賦練現品前渡し 本次の月月賦練現品前渡し 本次の月月賦練現品前渡し 一条狭町九〇番地 江戸屋家真店 電話日日 一大ヶ月月賦練現品前渡し 一条狭町九〇番地 江戸屋家真店 電話日日 一大ヶ月日 大阪西區 取 京 式 桐童 笥 日本 一大ヶ月 日 大 一 電話日日 三 六 1 電話日日 三 六 1 電話日 三 元 1 電話日 三 六 1 電話日 三 六 1 電話日 三 元 1 電話日

東新版の準備有日本確認電話三五八四番

ラデ オは何でな大勉強 電話八七十二番 部分品は将安實用品 網修理 電話八七十二番

傳家

藥學博士工學博士高峰讓吉氏發見

すべての胃腸疾患に因る食慾不振 肺結核其他の慢性病に因る食慾不振・

神經性食慾不振 (婦人に多しと稱せらる)

大师市山縣通一九三 表式台並三共華品質賣別 共株式會社



その教育氏

大連醫院耳鼻咽喉科醫長 **國**學博士 塚

本

は受受者に強音時の日底の運動を は受受者に強音を後には千音を受音せしめるので は は 母音を後には千音を受音せしめるので する。 休間ベッオルド氏の解語・対し かる線にして言葉を言は十様に十 である線にもて言葉を言は十様で行ってある線に指導者の官語をマイク である線に指導者の官語をマイク という アイン 中間 製造を用ひて機大して カーフィン 中間 製造を用ひて機大した。 口話法の根本 つて優れた

獨逸法に據る

寬 嬰啞兄が彼等の兩親に附添ほれつ 底でも楽観せられて此の口話式型 つ口話法教育法を受けつ、有る状 明氏の窓耐勢力の下に二十数名の らぬ事と思ふ。最後にこの機會を の運動開拓を深く思はなければな は一度は弱い聴言啞學校で今泉間 利用して世の爲政有並びに驚志家 之

所で、る。故に観費の大<u>瀬</u>郡の 下に 不良是童 事を切に希望する次第で有る。「唾飲育に理解ある御援助を賜らん

一般の個」と呼んでをりました。 しかし、こゝに夏を喜ばぬ木が ありました。それは、さあ木の名 は分りませんが、町の人々は「御 も皆生気酸刺として夏を讃笑するであるかの様に見えます。野も山 言ふ男性的な夏を迎ふるのを喜んの木の楽は、あの織をも辞かすと



調がないと思ったからです。

習字

你成数 安查化

ミシン、海川島で

ラヂ

外交 景線年齡不同

太陽の白い光線は、夏の近いの太陽の白い光線は、夏の近いの 城 桐 その昔、お侍が棹を満て、 野 陣 太 郎

童

話

お

なってしまった後も「御城の樹」 御娘がこわされて、際ばかりに 歌の水にひたしてをりました。 のぞかせながら、その緑の影を御 天主城の白壁を木の間にちらく、一次を指してゐた頃「倒城の間」は

供が二、三人では手の顔らぬ様なはすくといいて今ではもう子

満日案内

等に継ず正直洋行電五石 管理の 特よく他店に出來

古本 下高洋行へ 電五五元七番 郷店土地建物費買金融は 五米迅 五な速 七いで 番相類

新電話 大暴騰は不正直至の 大暴騰は大事案内社 通三五 電六八六三 大連案内社 通三五 電六八六三 大連案内社

マホ

唐末 線速町 電話 染物 町の地面

〇四五 阪 丁目八五 阪管並に修繕 本

三。共

内外醫家の實驗報告集あり御申越大第進呈す 各地有名整備にあり 的末多餘劃陽計酒等

羅。療治於病肺

である。商舎の幾表する全快者は守こまでも

臭實の全快者で、虚偽のものではないから既

検表せられるので大問題となるのは自然の 復し、多數の全快者が出來、續々新驅紙上に 不るに其の難病が商金の製剤にて

書もなく
 欧 政黨の壁道惡僧徒の跋扈

時代經聽議員と惡僧

生田 養拉

有田ドラツグ淳養に助川町仲町

肺病全快の體驗記を

百万。同点

結核不治説を



機郡大矢田

単山みむ子様

第二篇教 入義地を拂~は國運傾~ 跡を野平家の現代相 音

りましたので、

元気を増し丁度四點開巡波した末 は、美を服用するのを忘れる位 は、大く家内中が愉快に暮して8ります。と れ幅に 有田ドラツグ楽ののお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を落さず、一日のお方は決して力を高さず、一日のお方は決して力を高さず、一日のお方は決して力を高さず、一日のお方は大いである。

の楽で、全快した人々 ではかり出るので、釧

全秩者 坂部あき子

田岩 機線

見

めで

結核菌酸

市より増し、飲色もよくなりました。 學校の職体もあるので某場である。 学校の職体もあるので某場である。

明を得た心持が致しましたので、

生の喜び

歌中の展引が因でいつまでも第分 を受けましたち、ロクマクであしました。併 がれて、繋が出て空咳が出て解が、 るとの事に一層落歌しました。併 歌中の展引が因でいつまでも第分 るとの事に一層落歌しました。併

は難治として今に完全なる治療法を發見せら

我が醫學界は勿論、歐米先進國に於ても肺病

れず、世界の醫藥學界で盛んに苦心研究もつ

つある難病中の難病である。

主會商グッラド田有

のである。

をしも信ぜざれば天下に信をおくものはなり 病良藥と自他共に許すに至ったのである。 に世の批判時代は過ぎ去って、天下公認の肺

の良劇に賴て一日も早く健康を恢復せられん

針盤は商會の製剤である。迷ふことなく此

難治たる肺病ろくまく治療の

効く治る

後 は

家

0

S

解めて安眠せし

本婦大阪内、本町二一方田一一方田一一方田一一方田一一方田一一一方田一一一一方田一一一一一方里の一条橋瀬里

肺病
お
く
請
合
薬

しき

救間で

旅順敦恕

山京 泉邱水銀弓 湘高家 左記所在地の専賣所にて

請合藥 五 詰南橋齋心阪大

製鑑松音田有

色のは大禁物、超對に禁止せよ

の代累侯達伊

(す稱もを城島鶴) 城島和

師部に病院で商會の薬 自宅養生の注意

家庭上の心配器は病人に聞かすな

問口平

ります。

のはと常地の圏院で観聴診験を
悪いのはと常地の圏院で観聴診験を
に悪んで語ります。
に悪んで語ります。
に悪んで語ります。

■一なるとあがるのにあがらず、とう ・一なるとあがるのにあがらず、とう ・一なるとあがるのにあがらず、とう

数された と思って

のんだ薬で全快

出續者快全發病肺

山田川山東栄宮先 栄町町天

青年記 一青年團に令旨を賜はりし日 今上陛下の東宮に在せし時 月 日に定める 日を

國洋製糸も

る、こうした母歌は大連形衆では一次に整理を設美した店舗は本月十一年に整理を設美した店舗は本月十一年に整理を設美した店舗は本月十一年

ガ沙院執道のは選押へ

經營難に陷り

丁は十一月頃となる見込

寒賦式を暴行せしむると共に、職政會、匠門會を開會せしめ更に青年職、實務制型競技等の優秀月二十二日を青年配念日と定むる事に決定した、當日は金棚の青年機械所、男女青年職でに合言特に傳温なる合言を賜つてから丁茂十周年に旧書するので文藝省では之を永久に記念すべくギー、『東京十六日碧電過』今秋の十一月二十二日は今上陸下が東宮に在はせし時長くも青年戦に魅し、『東京十六日碧電過』今秋の十一月二十二日は今上陸下が東宮に在はせし時長くも青年戦に魅し 既生の表彰を爲すに決定した 令旨奉戴式を開

【受野売日・設定通道】信州下諏訪町 本の賃金支援にも調する有限の成のため郷宗能に際り職 手製線工場七十四工場は株價下 であったとしたった、他の工場は株價下 であるが結局強からず 七十日工場全部体製することしたの地 であるが結局強からず 七十日工場全部体製することしたの地 であるが結局強からず

倒產者續出 常業者減稅を陳情

片倉製絲が 先手で休業 女工の騒ぐを

尻目に

しい執達所

様で質損代金なども個股益々財職 これつて安全の運興は昨今全く停設をおいるべ落ちの後落で 電販能であると国人は大にぼして設大を乗っるべ落ちの後落で 電販能であると国人は大にぼして まずや ある、これがため四個投資を除價 電販能であると同人は大にぼして 邦商も支那商も悲鳴

府は田洞一競犬=を収録る とに決定し上海原際は命念を 競犬収締 上海名物の **逮捕される** 前京政

密輸事件は近く公判

逮捕することになった

を認識するか見物である、

けて今後入場した支那人を

和中)の耐氏は 120元 大連地方 120元 で、 12 金州の豪雨被害 総公判に題される権機である。 が十六日極く漢雑終門となり被疑 が十六日極く漢雑終門となり被疑 が十六日極く漢雑終門となり被疑

十五日朝炎の降雨は大瀬に磁破を 日早朝藤(復舊した、東路も一時 め全田暗黒となり海水脈ととして の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め がれがカに至る途上み間なく降り として全部の素果は少なく共五十 明されるは、原作物のは、原作物の撮影が いた本島に金融線は不通と の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め の場合は、原作物の撮影が いた。 の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め いた。 の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め いた。 の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め いた。 の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め いた。 の例子貨雨山殿駅の二子戦を続め いた。 の例子貨雨山殿駅の二子戦とがり いた。 のの一時 のでは、 ののでは、 停電、金福線も不通 マチーンの排作回機を共同の代表者があて、職員に監督し、機要は人口によるが、組合で管理するの代表者があるが、組合にはまる。 物では三十留の市債を

果樹は五割落果

十五日を臨時休棄を登表し目下紛続者間を調楽中 東洋モる更生

櫻内理事長の

自動車顕覆

(は八月七日職時報会を開き八百萬 園の母養承報を求め、其の上で新 園の母養承報を求め、其の上で新 「東京十六日東洋モスリン和議院定 所は十六日東洋モスリン和議院定 が観安本金四百萬國の第一東洋モスリン和議院定 が観安本金四百萬國の第一東洋モ がはない。一方國館社 新會社に合併

歌を合併する館で海洋上の「で大連へ舞つた 一般とないである。 一尺輪りの縁に歌ち込み車館は 「一尺輪りの縁に歌ち込み車館は 「「一大輪」の縁に歌ち込み車館は「「「「」」 の島前方の見透に出来ず同トンネ 選ぶま程黒護人CIDが午後に時項 選ぶま程黒護人CIDが午後に時項 を乗したる大河タクシー四七三號。 を乗したる大河タクシー四七三號。 五品理事長櫻八辰郎、世輿院諸鼠 五品理事長櫻八辰郎、世輿院諸鼠 から

エ大學の猛者連を

明大の追撃が見物

からは世界オリムピク

日本ノル・要電腦に依れば明州大 ・ の歌響を膨めた洗本では、一本大学及びヘッイ水経、 ・ としはの水が過じて悪行される ・ としばの水が過じて悪行される ・ の歌響を膨めた洗本で洋水深大学 を駆けて居身の一本が、本では、一本大学 ・ の大学 ・ であった、 ・ であった、 ・ であった、 ・ であった。 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ で

き文たせて居る

○…ニール大概選手中で秋のミナイクの七の野児銀を有し間水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一部水波手の一 者多く主獣ホウランドは二百二十 大に執っては非常な戦威と見られ そのリレーテームは軽型的環境を 米大震生制像を持つて居る、既に 米大震生制像を持つて居る、既に 果の小沢で歩った場が、懸れる鍼の商民等は官権の暴

第一時に地方の画情及経済 東門所に地方の画情及経済 でを考察したものを極東に をを考察したものを極東に 的があつて速成的に動があって速成的に動作したが氏は新きいかには東洋語學第5

哀れ投降

逃亡防止 個柄兵の **制東州教育会第二部会公里常音通酬東州教育会第二部会公里常音通**

囘

十七日午後四時滿俱球場 一囘會員券一圓、五十錢、二十錢

麦鲷所州内設置 各要路に陳情す 新義州に設置の不利を說く

第に基出し物内設置に飲き個力配 知さず味の戦闘書を拡減省、清極 知さず味の戦闘書を拡減省、清極 が、小澤剛氏は十六日大安全の が、小澤剛氏は十六日大安全の 、清極 が、大変報、大変報、大変報

製御機械は新機州にて企业に輸入しつ」ある九百 می

國際水泳大會 院官標本の一つの原因であるが、官商を贈り発展の影地がないからこの原因であるが、官商を選ぶの影地がないからこのを贈り発展の影地がないからこのをであるが、官商を選ぶの影地がないからこの影響は確定を開催しる域の概念界と

総割中でカリリ兄弟、飛込みのカタルパスター・クラブも既に到着 として内外の出目を激いてるるとして内外の出目を激いての場でした大衆戦略の尖端に対ける自通財際に 後藤氏講演會 青聯主催で

官營事業の

獨占廢止

が陳情 市民多数の来聴を希望する山 演員を開催するが会談は勿論一般 とは午後六時から山城町本部に於 で同氏を聴し支那関線に関する講 で同氏を聴し支那関線に関する講 で同氏を聴し支那関線に関する講 が、これたのでは支那女

の福音

▲使徒ペテロ 日本組合教會収置を開催するが誘師と演題は を開催するが誘師と演題は

夏期修養キャ ツピング開催 基教青年會主催

西伯利の農民は不満 年間で完成 ガス値下げ

ルの調片華工會は職山一

土建協會常任選

婦小內

人兒 科科科

田豐

製造人社人の養化証

代理店 茂 生 等天青葉町二二

實點與七四二番

東京新富堂支部

何時で

題診

致

重

辰村の機械化

物邦の派遣員語る

南軍の飛機

體育測定指導 ※変として加はり種々意見の交換。 ※変として加はり種々意見の交換。 團一行招待 昨夜本社長が

内科專門

科專門 櫻井內科醫院

磐城町中元聯合賣出景品當籤番號發表

四二一二二二六六九五五六〇七八八九五五六〇三二九七六七六

内三〇九七六二七六四四二二三二二 大三〇九七六二七六四四二二三二二 七六六四九一八九四八〇六〇六八〇八八 七六八四九一三三八七五六〇八八二二九七 一六二二二〇一二二三七八〇四〇八五三 内西三二二二一一一一一 七六〇九八六二七六四四二二三二二一 七〇九四一四九七六七〇六八八〇二六 三二五七八一四五九〇七八六四六五九八 八〇二四〇六五四〇〇四八七五四六五二

東亚物産館樓上

古舞だとは痛ましい世相の

新刊滿蒙日本人純土質

店にありては好飯の得意先名簿として至極便利であります。 なる調査に基含精和を極めたもので、一本を座右に置けば沸濃に活躍せる公私人なる調査に基含精和を極めたもので、一本を座右に置けば沸濃に活躍せる公私人 在減驟の有力官民を胸麗すること三千五百名、 會社銀行約七百十條件、共に正確

發行所 大連市浪速町大阪屋 號書店 店大連市浪速町大阪屋 號書店

「関聯に舞らとしない、後方で別人の歌の能力測定實施に闘すると、「理事の消費も互額に達した今は十九日午前十時から同所に全委を數重に収離り以て砒調力の減十一名の姿態を選定、近く開東趣や防ぐべしかを動重に収離り以て砒調力の減十一名の姿態を選定、近く開東趣を散重に収離り以て砒調力の減十一名の姿態を選定、近く開東趣を散重に収離り以て成調力となったが、というに対して右部行をないて既に各堂より一名都合いのでは、一般では、一般で観光を選定、近く関東趣を対して右部行をない。 科毒 沙皮

場 協 西 語 電 **横銀満**番五二三 =

を敬重に収締り以て限画力の別が、今回戦の長引くと共の原則だ、今回戦の長引くと共の原則を発すの限山画軍の長別くと共の原山画軍の関連を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を

電話四三時六平

米穀商 る 志摩洋行

图画 優品良質 白 を一を一人(用紙包と新着 食 ー(農な味と香と改養の選 料 0 00

◎坊ちゃんの郊外向させい 味付け 界 8 米関ッサイキャイ ケット端人(周珠卓絶せる等です) ト で 一 (開放しまが着って社の デー (開な味と香と歌イテー社の デー (開放はお小供家) 世の必要品 プ瓶人(本場の英漢裏で赤白色

鵬日活現代劇臺

本より

を

見

V

man man mile

(六四)

面座

がらして云った。

で達の思ひくの異物の代を支援が大連の思ひくの異物の代を支援が大連の思ひくの異物の代を支援が大きならべて大連の思ひくの異物の代を支援が

照 安樂散

能戏治主

肩のコリ

神にリ

五二十**定**

一干

筋乳 肉の のコ 新り 新ス

際店に有ます

胸。過う 映。券。ち の 系 流 流 連

うにどつと揺ると刺土は、カウを塗の災ひが、優子をあざける

をれが近しい事であるか、不正 とれが近しい事であるか、不正 だが、それは吾が生命を賭けて だが、それは吾が生命を賭けて であるか、俊子自身には、根 であるか、俊子自身には、根 であるか、俊子自身には、根 であるか、日本のは、本 であるか、「日本」 4日の部屋 -想と言ふ窓には、もう 來ない使子だった。

子は、足音をしのばせて髭つて行ない死他のデバートの陰眈を、倭魃と言ふ駆には、もう灯も見え 生ける尾の彼女自身を、千呂の許優子の、宛れ切った身體――足は

あけて

を は近く留ると手をさし出して云った。 との は近く留ると手をさし出して云った。 そして倭子は、それにひきつけるやうに病の中では近く留ると手をさし出して云った。 の一枚でも結構でするなたのその一枚を

当日二 滿日柳 文藝

せんき腰足

の痛

マチス

夏季多く發病する譯

慢性神經痛

ら平素治療に又再發の強防に安樂散で加養しら平素治療に又再發の強防に安樂散で加養して一日も早く回春の喜びを得られよ

見やせを好んだ

東大 六 角 よし 坊



ながら酒くさい息を吹いて云った まだお若いじやありまありませんか 夏やせで類号一階高くたり 夏やせの耳玉計。チョロへし 夏やせの耳玉計。チョロへし 東来波湖 銀 杏 を来淡湖 銀 杏 子 夏やせを美つて見きる夫の繭 大連 弦 大連 弦 大連 な 第食して夏瘦らせす秋になり 質瘦の妹この頃無を知り 乳ばなれの又やせて『夏になり 光球なれの又やせて『夏になり 大連 原 大連 原 大連 原

滿日聯珠 拥信戦(二)

紙歌を優上は都つと見詰めながら

何かしら彼女目均も使へてくるの

たやうに日を見張った。 後子の際に、桃土を女譲る難い

私にお支排ひ下きいては、建りの一つを

お支彿ひはもらぞれて

家のざわめきは何かたし彼女の腕こう獣他して来た後子に、平昌の

店から外へ駆け出て行つか。 店から外へ駆け出て行つか。

対性が難いだ。 皮壁が疑いだ。 皮壁が続出した

東京市本鄉區菊城町五十二 #11111011#

吸着療法劑

林盤

山

神経がリウマテス治療要内臓安楽散は全臓薬の影響を聴る。

疲れを癒す妙布のキ、メ



中元御贈答品として 常張らない して贈り主の 高貴の品 音水を御すいめ致し ゆかしい心の香りを水く保つ 季節向の 気のきいた ではありますが 頭で 只今=高貴香料 (贈寄其地) 壹袋の **維援店等にて御問合せを願ひます** 景品 付賣出し事です

急

大連市北大山通十四番地

日華自動車研究所

大連市連銷街(電氣遊園下)

空察診男岩 空察診科保

大連加賀町三〇

心理可 松雅

電話2225 | 世、みにコイ

政記輪船的有限公司 表 科號 七月末日芝东 秋 號 七月末日芝东

取 板 巨 丸 一 日本或會社大連出張的理解制作或會社大連代籍店

可朝鲜蛇

害虫驅除に イマツ殺虫劑が 一番適當こ決定した

だった。 使子は、背後に働く人との足者 傑子の徒

を追つて人々は定った。

この母を見よ

女泥棒だ

なかば店を締めかけた様に、に だくの耳に聴えた。そして立ち止まつ た候子の映は、先程自分が犬のや た候子の映は、先程自分が犬のや に立つてゐる自分と、店の中で観 の事に聴えた。そして立ち止まつ

が 今後側面理機師士前明の真質時前 へ申込めは監測に相談に聴する由 無理などの () の () を使用し、 ある事が関かになった。今後男は () を使用した。
「 () を (

天氣豫報をする

凉、夕。は夏。 夜に奏効する コリを和らげ痛みを消し

カフェ 鱼車電射流信市值大 整九五八四話電

日

開

始

佛蘭西料理 表述可图下書

大通市三河町二帯地 日下齒科酱院

●上 中克里出版 唐山九 七月生 中克里出版 唐山九 七月生

W 声気経帯脈衝散点大連領勝町 電流五五五四・四七一三章 でサバッテーリスト・ビネーの 電流反立二六五・四六人一 電流五五五四・四七一三章

電腦三二五二番 支 店

◆名古·是行·東·端·北·七月大 ●香稚殿東行·萬·雖·北·七月大 ●香稚殿東行·萬·雖·北·七月大 七月末

쯔

全島谷岩

川日本

-0¤ -000

最近减

實業之日本社

田八八五四話電



電話 日の三人の司 本を表

(m) 图 科 目) 《官話談論新篇》 化平官話伊蘇普喻言 现代白話文範 现代白話文範

佛口語譯法

▼支那語基礎と會話大全部で 合本源。30

申込 凝 本處 大連市澳湖町

飯河 道 實 任 執 等 卷 北平 發行所

京(支店)京城・東天・体順、連貫商店街、系替大連二二七七年、東務五七九〇番

冠

各

店儿

費一 六ヶ月完了 六ヶ月完了 金金金 五二一 麗月 五十 統義 一ヶ月一般刊行 经 程 程 程 程 廿十四 四二 餘漆湯

中陸 張 作 尋開下題

ででも御利用下さい 何でも御利用下さい が開て御族行の事は

せ歌謳

健康創造の美酒を 潑溂たる肉體美を 人生無上の幸福と健康を!! 味と滋養の蜂ブドー酒! 健康は人生唯一の至實なり 飲め!一而して その潑溂たる健康を創る美 謳歌せよ





店商衛長利藤近龍元製物

が変制 計画に関し左の如き意となって生ずる政局の前途及 となって生ずる政局の前途及

を示してるる、なほー、二等旅客・機等、貨物を通じ七分入風の減少・大量の減少・大量の減少・大量の減少・大量の減少・大量の減少・大量の減少・大量の対象を示してある。然るに本年度四月

を示してゐる。然るに本年度四月度は一昨年に比し一分九厘の減少

政府當局は前途を樂觀

の如く意見の一致を見た相は暗線統約索問題につき相は暗線統約索問題につき

政府側の意見一致

四執しなくともよ の如く特に暑休前5 中は駄目であら54

豫定を變へ十五日開催

はや、育繁に常つてゐるのではなし、大きるがには主として機術在貨の会理があるがには主として機術在貨の会理がある。而して生衆に動する米國の需要はこれを受ける。

日本一獣四分七里で英米に比し物 関下落歩合は高いが然し其選は少 いこれに依つて見るも不気類必ず なるでは、一郎三分

か物質全職の下落についても

週間内に投票不可能

に修正を施さればなられ様一様である

條約範圍を海洋

目由にまで擴大

マ氏米上院に提案

莫全權に全般的

交渉權限を附與

先づ大使交換を承認

たいといふので、数 運動なりについては関係を がいといふので、数 運動な列心 なるものもあり を がいといふので、数 運動な列心 なるものもあり は

関館、「腹口首相以下谷閣僚出席」 るが旅客貨物收入においては昨年の開闢は午前十時より直相管既に | 妖態を測定するパロメーターである東京十五日設電温 | 十五日の定 | 江木磯相より回耳機消収入は脛体

一割四分

町田農相閣議に報告

との翻保はこれに依ると経に日英瞭解なぎものとして批准する。 **本間に交換した係約の解釋に関**

常の合社組織の出願に制 地域が極い

電景大関係を持つて来ることは想 簡らした 電景大関係を持つて来ることは想 簡らした

を見た着の野狗のの他不能を を見た着の野狗のの他不能を を見た着の野狗のの他不能を を見た着のがないか」と思ふだい、常り前の事ち を見た着の話は短ってもまンと かららるかがあるを致ってもまンと からないか」と思ふだい。常り前の事ち を見た着の話によるとりってもまンと であってるる。 を知ってるる。 を知ってるる。 を知ってる。 を記した。 を知ってる。 を知ってる。 を知ってる。 を知ってる。 を知ってる。 を記した。 をこした。 を記した。 をこした。 をこし

は未決定のまゝ歸任か 商相等が解決に努力 除着くは良し被、数職金の交付等 間で想像して居る如く軍に關税を は、数職金の交付等

意見相違點觀測

核様ではそれが事實、却と

の脳件につき逐一その使用目的、に日下展太氏代命された、六十九年、法林貸付四萬七千四百(成員中であった補刑権化裁機取合・大・一九年) 東北軍事委員會

大徳豫定定別船はるびん丸の式なる船客左の如し る船客左の如し 一(京大教授文師)有馬額吉(有 一(京大教授文師)有馬額吉(有 一(京大教授文師)有馬額吉(有 馬所継、所長、醫師)中村進(立 一(京大教授文師)有馬額吉(有 馬所継、八川正之助、神野主三、 一(京大教授文師)有馬額吉(有 東京継、小川正之助、神野主三、 一(京大教授文師)有馬額吉(有 本 本 一(京大教授文師)有 一(京大教授文師)有 「本 一(京大教授文師) 「本 一(京大教授文師) 「本 一(京大教授文師) 「本 一(京大教授文師) 「本 一(京大教授文師) 「本 一(京大教授文師) 「本 一(京大教授文帝) 「本 一(京大教授文帝) 「本 一(京 一) 一(京 一) 「本 一(京 一) 一(京 一) 「本 一(京 一) 一(左利の他石を表

はるびん丸船客

木村公使は

麻袋 出來不申

出来高 十棚 館務 約定期 値 段 欄數 綿糸(保合)

後

のである

政府米拂下

東京十五 1 級電通 | 別談決定事 | 東京十五 1 級電通 | 別談決定事 | 大長 東京十五 1 級電通 | 別談決定事 | 大長 東京十五 1 級電通 | 別談決定事 | 大長 東京十五 1 級電源 盟連事會に設ける 帝國 | 特命全権大使 安達峰一郎 | 特命全権大使 安達峰一郎 | 特命全権大使 安達峰一郎 | 大長 東京 | 大

平井検事に

代表更迭

神殿皇皇 10日 加殿場に避暑 でにもめげず嶋藤増進大息州に たしめ五百匁を帰した商ほ老公 は十九日興津愛領殿婚期印に避暑 なたものばず嶋藤増進大息州に は十九日興津愛領殿婚別印に避 が、今回之を併合し、事种に のなことになつた協人事の段動は のなことになった協人事の段動は のではず、新に本社より支社に の係主任を命ぜられた 忠告を拒絶の

| ペリー十五日 | 一世の | 「ペリー十五日 | 一世の | 一十名 | 一十五 | 一十名 | 一十五 | 一

精衞氏愈よ北上 本月末迄に北平到着

四園寺老公

菱刈

司

昨夜奉天に到着

高粱畑こ

夏休み前の御諮詢

說

の釜につき本月末迄には荒毛の豫元で入月初め正式版で倉職を開催し政府組織の本筋に入るべしと職【北平十五日穀幣通】改出派代表の下に逝した報道に依れば汪衛献氏は既任香港を愛し日本極由北上 北方政府組織に着手

北方政府の措置は 一切責任を負はぬ 南京政府内外に宣言

英政府再び敗る 炭坑法修正案通過

勞農讓步

歐洲聯盟案賛成

回答七ケ國に上る

官有地貸付拂下

三十件を漸く許可に決定

關東廳の委員會で

哈市通過歸朝

省する山営地に東電あつた おに就任内定の木村統市氏は十五 本に就任内定の木村統市氏は十五 の木村統市氏は十五 沿海州の暴民 破血團となる

經路變更

の左利きか――アレビ

又一方では五十何銭にも覆るとい では時代の樹かに從ひ且つ各飲食が上五銭、日本商士五銭の5三十五銭、日本商士五銭の5三十五銭、サイダー及びシトロン廿五銭の 日本自己服合長が華天雅を訪れ更 必要はないとこれまで組合機代表 と準天雅常局が再三折衝したが容 とを天雅常局が再三折衝したが容 十何田の組合は一同の意見も同様では組合職の主張する處に九に戦し職可を興へるとなし、受担で出来なければ飲食店の個人々々 を繰返した姿で総局概察館は組合に折衝する鷹あつたが同様なこと

でしたがその成行は注目されてるという。

一四十五銭に優ってある場もありをでかり、 で歌彩地では現にピーメート かと定めて際可し、 では現にピーメート かと行してまで歌可する。 を記るのに触れる。 を記るのに触れる。 を記るのに触れる。 を記るが移れる。 を記るがある。 を記るが、 を記るが、 を記るが、 を記るが、 を記るが、 を記るが、 を記るが、 を記るが、 を記るが、 をこるが、 で脳可して覚ひたいそれが出来な 電子では 電子では を奉行するため激性の姿に耐くことになり毎日午後四時から木谷監と とになり毎日午後四時から木谷監 とになり毎日午後四時から木谷監 でである。 では 電子である。 では では でである。 では でである。 ででは でである。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな

本では、 なるが撃天輝にお 線とて北震神と、 が大が昨年の同期 除行戦一行十名は目下北支那地方 を膨緩中であるが来る世日夜北東 線とて北震神より來華園夜北行北 はいて北震神より來華園夜北行北 であるが来る世日夜北東 が大が昨年の同期 にて北震神より來華園夜北行北 であるが来る世日夜北東 であるがまた。 第百十九周減少し平均三島入分減 を示してるる を示してるる

全京城と龍山で競技 選手の遠征 松平、森田茂、高木正大、

今年も森洋行からで

乗りは既に十一日水率し世話係り乗行することになったか一行の先

漸級鍵グラウンドに於て花々しく込み間日より二■間毎日正午から

てゐる多分附三日中に開くやうに、自然が子供達から多大に期待され ▲稲葉醫大學長 十六東より憲任 元の朝に納まつたと云ふが

右九名は十八日十五時半安率線急

大連の石本氏

蘇家屯驛の 上屋飛ぶ

岩本孝太 構内第三本1ムの上屋根が全部吹一林涛、選 近を襲ぶた暴風雨のため蘇家屯隅 十四日午後十二時代頃から窓天町

馬

の兩頭目

く昌圖で銃殺されん

- 三年振りの豪雨に

9

泥海と化す

貨物盗難と番犬

來月から使用せん

るといふ上へ下への大騒ぎ

領事館附近の家屋は全部浸水

音學校も臨時休業

の中ど主人のためご率公するのだやら産標の準備に急がしい何れそやら産標の準備に急がしい何れそ

版りの大武水

法律短期講習

起か混凝凝素であ加すべき 鐵嶺の歴史を語る 古老連の座談會 19

城山、大鵬豊國、同玉館一行郷東の途にある日本太相撲横

州孫教師弘等の下に元號よく出發 で何れも父兄多数の見殺りを受け で何れも父兄多数の見殺な中六日朝五時将列事 で何れも父兄多数の見殺なが、 一次にのようない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一次にのまるない。 一分にのまるない。 一分にのない。 一分に

して大孤山鹿で再びキャンピング を三十日旅戦で同地少年職と職合 を三十日旅戦で同地少年職と職合

次官に

健見團夏家河子行

をいふ 解表で十四 といふ 解表で十四

見童の服警

速記して永久に保存

戦山地方事務所職業係長阿比留成 二氏は安東地方事務所職業係長に 足立經理係長は延陽、城所長は十五日 年後七時より湯崎子温泉において 一年後七時より湯崎子温泉において

平

街

寄附電話 募集中止 春

臓が起り目

者の交渉は離まつてゐるから

本年は現場を中止した
中電話相場の低素に調びされて
特電話を募集する議定だつたが。 新兵舍落成 相場低落のため

廿日頃迄に移轉

日 工を見十七日から四日間の内に移 館や商製敷校の假長舎で不自由な 生活を送った兵職さん産もやっと

長審室町小町校では來る廿五日か 内で城間緊密を實施すると、 高 村生徒十名は山口激師に影響され で成の心臓へ十五日夜出致した 室町校兒童の と熊岳城行き 野球、聴衆は試合開始前既にスタとに依り感職は開かれた、絶好のとに依り感職は開かれた、絶好のとに依り感職は開かれた、絶好のとに依りを職はは、

林間聚落

認に優勝せり経過及びメムンパー

11大圓荷(仙株牌)上旬一四一圓

□ 大関局(世界) ・ 1 一般(間)と旬四個人十銭下 ・ 1 一般(間)と旬四個人十銭下 ・ 1 一般(間)人 ・ 1 一般(間)人 ・ 1 一般(間)人 ・ 1 一般(間)人 ・ 2 一般(間)人 ・ 2 一般(間)人 ・ 3 一般(間)人 ・ 3 一般(間)人 ・ 4 一般(間)人 ・ 5 一般(間)人 ・ 6 一般(間)人 ・ 7 一般(同)人 ・

石岡氏送別宴

九百六千人

對支貿易の伸展策

關東州と天津を利用せよ

林陽之助氏等

Î.

吾等町

> 10

牛宠支大麥齊 硝那 (千打) 皮子紙黄

大 造 変

E C

名

数量

天津より營口向再移出

 \Diamond

大道に除入された外関品の中で大道に除入された外関品の中で

バイ

新皮 ト 精油和 大変数 大変数 大変数

機数・同味搬工ススト

ものには、左の通りの商品があ

据 二四 方 III

移倒出

出来得る限り其工場を支那に対めらる」も以上、日本の対支職州品中、以上、日本の対支職州品中、以上、日本の対支職州品中、

がのは、

(E)

(日曜不)

つて普順店へお締さんに行きれたムスカートさんは良績がれたムスカートさんは良績が

會議區長打合

企業は でお行は頗る製になった、併し時 でお行は頗る製になった、併し時 でお行は頗る製になった、併し時

大矢組は最も甚大らしく國際の独立なく民国が、大矢組は最も甚大らしく國際の地は大大のとなった、民国地は十数月の浸水家屋を見たのみであるため被害

南は新城子軍天附近に少量の雨をは魏龍府とを中心としたものらしく北は中国附近何等の異既なく、

奉天車幅事務所管内職長値長の打

満洲豫選を前に 投手生田を筆頭

大会に出場する振戦中戦ナインは一はものではないが、東京に出場する振戦中戦ナインは一はものではないが、大会に出場する振戦中戦ナインは一はものではないが、 素晴らしい今年のナイン

▲長山雙祭署長 十五日電任 ◆見坊地方郭湾所長 封連中の處 十五日朝藤連 十五日朝藤連

六月中金融市況 既に夏枯期に入る

公学堂講堂 近日中に着工 でで変化近日中に選ぶ年中に新教 でで変化近日中に選ぶ年中に新教 でで変化近日中に選ぶ十十年である事となり居りしが終く井上記 でたが飛りは百八十米年かりと

日満了のため何れもは校に闘ったというな下降義(小學校)の際氏は神の人太田胤平(公學章

機な行な

緊縮宣傳映畵

大窓に二十餘年盛。近月開艦の運びとならり、配して を開発し、以て融 を開発したいとの 主で、開催の で検験性性の古 を探聘し常日の を招聘し常日の を招聘し常日の を招聘し常日の を招聘し常日の を招聘し常日の を招聘し常日の のあさひとして純食通樂としてあ を招聘し常日の のあさひとして純食通樂として新 で食道・一で、開催の を招聘し常日の のあさひとして純食道樂として新 でを開始する者引機き今 に「喜良久」と改稱する由 に「喜良久」と改稱する由 に「喜良久」と改稱する由

凉風わたり弦鳴爽か 全滿弓道大會

大に奉行された、朝松の服も鑑成 一 等 四平角 桜 原 観 新遺場において午前十時より鑑 ◇ A 組 ◇ は 公 本た全緒 予道大会は 去る十三日公 如し ◇ A 組 ◇ ◇ A 組 ◇

文

原康宇辻本原

葫蘆島の官

軟式野球の覇權 遂に驛軍の手に歸す B A 同四范詞四長組 松開長四解四組 不審 《 ■原春街原香 ◆

神 中井藤勝野倉山村邊井 1234978

トポールに開館、開軍の接触相僚 中し一勝一版人回夏の帰軍の總政 順に北斗戦稍連等を職し結局二十 の大スコーアにて職軍

安

東

商工省日新義州說 上京委員よりの電報

公學堂の 瓦房店

今月行事

に同問題關係諸經費に關する經過報告

り目協会において書書員する 本部曾報程制定に開する件(本項 大部の野妻をなす。 各部門を新設、その實任者を置 を部門を新設、その實任者を置

常地の安那耳南日善宮、東記、鴨 記外九名は新興無分の旺滋せる胡 記の情報と「大地・食」を あったが何地の官部が情暴を極む るのに憤慨し何れも見合せ事本し たが電域の情暴に夢からず憤慨し

年のスコテラー 触田君である なほ同

萩原断然優勝す

竹、 編本等あり 竹、 編本等あり でなり、センタ

近時水電魚社の電燈線長書配出するので歌窓では極力響流中のところ十四日午前二時代電影中版のをで取削へんとしたるに競技電政中三で取削へんとしたるに競技電政中三で取削へんとしたるに競走したるが日尾がつった。 大盟寺西播手に劣らぬ五尺六と云ふ巨圏の持主で同チームと云ふ巨圏の持主で同チームでの堀打着の一人、一部手では第二投手として時にアレトに立ち敵軍をなやまし、一部手を置は関鍵行て肩のよい協等性を持ち縁棒を持つ、シート佐々木は敏捷はやぶさのイト佐った小田は

電線泥

營

本年は協田改会の職職と鬼歌勝木本年は協田改会の職職と鬼歌勝木本年は協田改会の職職と鬼歌勝木本年は協田改会の職職と鬼歌勝木本年は協田改会の職職と鬼歌勝木本年は協田改会の職職と鬼歌勝木本の行と時本交へるその得意と鬼がある。 よく封するに足り、捕手石品となるスローカーブは打着の健康

がド手なためか安夏に憔骸した昨年の豫選には力はあつても職

目上計響及架設中島關克穆問

雷 木熊道、東郷元臨、大川郷を有し の園であるからである、廿四幸は に臨功行賞の常否を敢て言ふもの は臨功行賞の常否を敢て言ふもの ではないが、日本の政府並びに割 では不孝者が珍しいか、日本 では不孝者が珍しいか、日本 では不孝者が珍しいか、日本 では不孝者が珍しいか、日本 では不孝者が珍しいか、日本 では不孝者が珍しいか、日本 では不孝者が珍しい。と言ったと いふ、此寒獣け髪して今の智識と 中中体制語の日五川三日野身五七十の中体制語の日五川三日野身五七十の地域中に投じされを設版した金子地で其前年病要女を失ひ三城子女を選して白色網野歌へ記憶行のかるを選して白色網野歌へ記憶行のかる 振順の事は最近の事相である。

七

撫順事件を想ひ

邦人の決意を促す

 \equiv

を今夏六月より再開上 耐大旅客の とセレン河に除落し一時中止せし 上セレン河に除落し一時中止せし 上セレン河に除落し一時中止せし

一十個とし M外で 二十五個、新聞社 ないが、水泳と云 5見地
の如き第二種郵便物に離するもの と、あまりに遠くまで指数・郵便の連絡無く往復の自動車其 ないが、水泳と云 5見地
ないが、水泳と云 5見地 高側にして普通郵便外最内地を

後十過ぎまで で近隣の透 い方夜間の勉強 い方夜間の勉強

さつと館色をかへた。軽乗街で表しい苦痛のために虚空を の指は謎しい苦痛のために虚空を でいまれて見ると

野合の子

(四)

星ケ浦につ

空町の中に

その顔はあの死職権列所の中で見空間の中にゐるのだらう。ある、

たと全く同じものではないか。 「ホホーニーこれが認为しいので の人形なのですよ。でもこの人形が には魂が曲つてゐます。恐ろしい には魂が曲つてゐます。恐ろしいって

ロシア

られ、歩兵部隊に對する指揮簿 あに至つた。

職係があるのです。 、あなたは一體この

そんな

胃癌の原因

なたは私

あい、この女が順補の空で、な腹 に呻めいてある時、あなたのお父 さんは何をしてゐたか、このメリ で大金時だの語書家だのと世間の で大金時だの語書家だのと世間の

と質は酸

たか、故障でなべれるべ

現在は約四千毫に

別ひのやうに観く。花子は何か言いた事だけれど、その略にした。然し、その略にした。ない、父の猟!それは知らずに犯された事だけれど、それが、こんな 「さろ。あたしは此處

はいり下さい。

が、何といふ。 を初の妻は死ん を初の妻は死ん

然に治癒する第五

るる女の

事皇漢門東

出事の名 の子供が 世界的の大家たる山崎原本の政策に於てて民る、紫原の大家たる山崎原本の大家たる山崎原本の大家たる山崎原本の大家たる山崎原士の政策が、これは野野がと云へは野野の不歸生は胃酸が、これは野野の不歸生は胃酸が、これは野野の大家になって胃水が、これは野野の大家なると考望になって胃水は苦味が、されば野野の大家になって胃水が、これは野野の大家なるは野野の大家なる山崎原本の政策を出て、更になって胃水が、これは野野などとると考し、更になって胃水が、これは野野などとる。

消化不良症 を確らせ、天興の幸福を事受し得 きしめ、冒熱疾の側部を復活して身心の衰退 のめば飲むほど胃壁筋の弛緩を引 『タラコン」の薬質 本側を連用すれば其日から乗

十錢、二圓五十銭、慢性總用 樂店にあり

なたのお父さんにとつては 来たあなたなど。 香日龍! あなたのお母さんは、だ 伊藤幾久造 は何で 衞

私生見、それがあなたの上に 膨烈して下 o 一體あ

たちの驚いこれを考れ 紫火の中

とも出来なかった。外た。何を考へる事も、

大きなのでは、血管などうして胃に、 のと、これに、血管のでは、血管を のと、これに、血管のでは、血管のでは、血管を のと、これに、血管のでは、血管を のと、これに、血管のでは、血管を のと、これに、血管を のと、これに、血管を ののである、 では、血管を ののである、 のののである、 のののである、 ののののである。 のののである、 ののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののでのである。 ののののでのである。 ののののでのでので、。 ののののでので、。 ののののでので、。 ののののでので、。 のののでので、。 ののののでので、。 のののでので、。 のののでので、。 のののので、。 のののので、。 のののので、。 ののので、。 のので、。 ののので、。 のののので、。 ののので、。 ののので、。 ののので、。 ののので、。 ののので、。 のので、。 のので、 のので、

のである。又 能が旺盛になりて気板を一掃する 能が旺盛になりて気板を一掃する

胃アトニー症と 胃頻張とは すと共に、 皇漢が多フコンを原因して居る しかな証據が、天下至るところのしかな証據が、天下至るところのしかな証據が、天下至るところの 明を佚つまでもなくあらゆる魔法がな対果がある、それは事理的記述がなが果がある、それは事理的記述がながまから、 洛に現存して、 タラコンの

夜

眠る前に必ずフリットを撒布しませう





り年中年に多い

和膜の腫張及動血

マクニンゼリでは するマクニンを 職に炯虫を 駅除 の無い的 まざる映虫寄生 鬱々として楽し 店商舎支澤藤



帽を描くここが

の今

ね

で 行く。 で 清子さんの鑑才は益々伸びて で 行く。

したら一日中でも描いて居りま

でも入つて寒心に習ふつもりですかったから感検に訪ねて行つた。「寒検を出たら寒寒寒門の寒焼に

賃衣 袋

町たじまや電六六〇一番では、六〇一番

す」と来だそんなことも考

實印の御用命は

「失機ですがあれたは僕の嘆さんではありませんか?」「失機ですがあれたは僕の嘆さんではありませんか?」「未める恰好で右手を差出し、

一次に十四年夏であった、その年度、 大正十四年夏であった、その年度、 大正十四年夏であった、その年度、 大正十四年夏であった、その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。その年度、 本の世界であった。

1これは誰が置忘れたのですか 3 ア・貴方家られて丁度好かつた 5 貴方家られて丁度好かつた

チチ モミ | 薬町六〇

「マアこの方は…

三人は日を丸くして笑つた。郷土はテレて弱さがった。

別ノミ、密)白木臓、野智用具 高生用具、運動用具、下駄、通 信用へガキ切手類、其他 一次のテント

第四十九課 秋父因

實用支那語會話

ラデス

8 貴方は何慮へ届けやうと思つ7さうで無いと私は今届けやう

後人達に渡さう

生活の囘顧

平幕生活のみによって夏季報酬業 望し他人の分まで代って預測を志

夏季整徴業・前後二十日を通じ雨は一度も乗ら塾十五年は一巻することにした、その年は楽ひ

にも抗らず何れもテント生活を希などによつてその生活が不便なる

婦人の万へ行きその中の一番若い、一番美しい婦人に向ひ握手を をの観線が翻かに彼女等の方に注がれる、今まで何か悉へ込んで 客の観線が翻かに彼女等の方に注がれる、今まで何か悉へ込んで 列車が停車した、三人件れの婦人答が入口に現れる、車内の乗

僕の與さんの

汝

朝

三、同郷費にてよい食事がとれる

6

和两

(此方決では物理學上非常に頭白 方法を遂行するには教育者と独教 方法を遂行するには教育者と独教 方法を遂行するには教育者と独教 方法を遂行するには教育者と独教 があるが省略する)低し此の 方法を遂行するには教育者と独教 では、一個にある。 に低脳者に對しては目的を達する。

先日

元滑子さんは本年十六歳、複形の 動の騒さらなお輝さんである。 「先日秩父宮殿下の御台覧にも 供しましたし、見元さんの書は まあ在事生中一番でせらい

▽獨生△ 高女三年松組の見 何より好きな 見元清子さん

子さんが可愛くてたまらないらし で五人兄弟の内たった一人娘の市 ましたが不思讀に の人形や机等を書きちらしてゐ 「え」ちれは小さい時から手近

可成り熱心なもので 飾しさうに話す。 「対子は実践がいた。 へいますがそれで時々がでは、 ないものですか んの教育には



節から先生が、

※ ○ フラー で見元さんの神はおとなしいち ○ 注意 ○ の扱い解放よる ○ の扱い解放よる

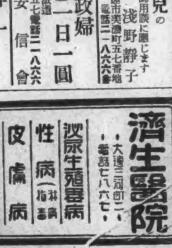
白帆

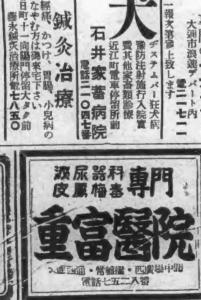


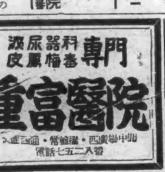
大連常整網筋西通角 大連常整網筋西通角 大連常整網筋西通角 大連市吉野町ニ五 野中醫院

キッ精丁









療治御望みの方は

高真 高順の御用は迅速で親似 常活に大二六番 常成の御用は迅速で親似 が日本曜寫順館へ景を機 が日本曜寫順館へ景を機 藥小寺藥局

(男女研究生」、二名採用) (男女研究生」、二名採用) (男女研究生」、二名採用)

ージ院

藥學博士工學博士高峰讓吉氏發見

その教育印

るに外だつて人類相愛の大慈悲の所でゐる。故に極強の嵩むを挑す

大連醫院耳鼻咽喉科醫長

阿里博士 塚

寬

の運動開拓を深く思はなければな

之。不良兒童

ら以事と思ふっ最後にこの機會を

る。此間ベッオルド氏の腕離戦艦 める線にして管撃を管は子戩を設置せし には母戩を後には子戩を設置せし は壁境者に競音時の口唇の運動をは壁境者に競音時の口唇の運動を 言葉を發せしめる迄には種々の方 口話法の根本 つて吸れた

する、例へば大連壁座駅校で行ってある機に指導者の言語をマイクである機に指導者の言語をマイク 大曹すべき事で有る。更に日本全國の襲墜数育の狀態を摘じて居るが大部分は其施設が場形で日話がが用し得ないものが多いので有る。其大多數は經濟能を摘じて居る。其大多數は經濟能を通過すると ものがなかつたので有りますが名 古屋の概村氏、近江の西川氏廟氏 と實験成績等により本朝に於ける と實験成績等により本朝に於ける である。實に日本野県教育忠を完成せられたので はいの西川氏廟氏 獨逸法に據る 明氏の窓酬勢力の下に二十数名のは一度は陽のの音吸を校で今泉屋 嬰啞兄が彼等の開親に附添はれつ 態でも総職せられて此の口話式 壁つ口話法教育法を受けつ」有る狀

なる事を充分派知して居ても口話なるの特殊教育には健康見を相手にするのとは違ひ生徒数に比較して漢の数別の教育者と全額の費用とを要する事で之は止むを得ない 優秀で合理的 用具の準備

言語を再生し

に一日間生活せしめた総製は木明 館の生活に地して 一、生活に趣味あること ため海岸に大幕を辿り十名宛交代率中と合宿しその一方にて經域の により脈々起つた図書失敗は後年により脈々起つた図書とこの本完全な影響 得ず、只管雨止を待つた事など忘 待つたこともある、或る時は炊事。 も出来ず朝食も十一時頃までなし ない。

よい思ひ出であった、むしろ平凡 よい思ひ出であった、むしろ平凡 を知れない、翌昭和二年には前二 ケ年の観戦時代を終り勝水夏季に ケ年の観戦時代を終り勝水夏季に に極校にて天幕二張の新調すると 石足上げて あしたは雨だろ

務先確實なる

薬及治療

代話三三人伝・三六七

学したるため前後二期に分つて by 生 を は で かって と に した、 その 年 は 幸ひ に かって と に した、 その 年 は 幸ひ に かって と に した、 その 年 は 幸ひ テント生活は自然にかへり心に 神は人間生活の重要をももどす機能である。 神は人間生活の重要をももどす機能である。 で、そして殴べ自然の観察に登り して行く、この流れに流するもの は自然に舞る生活ではないかとい

は前年の総談によりテント自炊生活をなし得るの自信を得たからであった、それで約四十名の希望者あった、それで約四十名の希望者あった、それで約四十名の希望者を得て炭磯よりテント二張を借用を得て炭磯よりテント二張を借用 され既交場その他に避職したり或あって色は黒く夜間は居ながら屋 かって色は黒く夜間は居ながら屋 かって色は黒く夜間は居ながら屋

まる石けつた お空のやうド

片足あげて 石けり 冬 子

牛乳

電話四五三七番電話四五三七番

10月

牛乳 なら大正牧場

た、彼いで昭和三年度も同様なる方法によって行った、回を重ねる方法によって行った、回を重ねる方法によって行った、回を重ねると、後の生徒もこの生活に慣れ楽しないのでありな所に力を注ぐ必要もなく

であるかの様に見えます。野も山であるかの様に見えます。野も山を皆生氣凝刺として夏を護美するとかし、こゝに夏を喜ばぬ木がありました。それは、さあ木の名は分りませんが、町の人々は「御味の側」と呼んでをりました。 情報用上りの七月の空です。 根網上りの七月の空です。 本間の白い光線は、夏の近いの 大間の白い光線は、夏の近いの 大間の白い光線は、夏の近いの 事を切じ希望する大館で有るの歴政育に理解ある御援助を賜らん 枯らしてしまつては御先配線に 調がないと思ったからです。

その背、お侍が棹を満て、 長い 年はどうした事でせらっ夏が近づ 木の葉がしをれて点ました。 市長さんを初め町の人々はた くにつれだんく一気気がなくなり

陣 太郎

野

話

なってしまった後も「御娘の街」 供が二、三人では手の廻らぬ様な 様の水にひたしてをり へと伸びて今ではあろ子

のぞかせながら、その線の影を

天主殿の白壁を木の間にちらり渡を指してゐた頃「傳娘の樹」

町の雑りへ





れず、世界の醫藥學界で盛んに苦心研究しつ

つある難病中の難病である。

復し、多數の全快者が出來、續々新聞紙上に

製表せられるので大問題となるのは曽然の事

添るに其の難病が商會の製剤にて苦もなく恢

主會商グッラド田有

では、 は一通りではありませず、 は一通りではありませず、 が移々しくなく、私達。 かが移々しくなく、私達。

ま

救聞で

者以非新三郎

我が醫學界は勿論、歐米先進國に於ても肺病

し事態してある場合でないと

を無いいる。

は難治として今に完全なる治療法を義見せら

しましたので、

・めで

き九週間の般用にて鑑面も病系は 前より増し、観色もよくなりました。 學校の脈係もあるので装稿記 で診察を受けました度、立派に全 で診察を受けました度、立派に全 がしてゐると申されました。 長空 く有団欒のお蔭と思ひ一家一同の く有団楽のお蔭と思ひ一家一同の

人義地を拂

へは國運傾へ

政黨の野澤惡僧徒の跋扈

時代於是閱讀

の良剤に賴て一日も早く健康を恢復せられん

治る

後 は

0

笑ひ

のである。難治たる肺病ろくまく治療の

針盤は商會の製剤である。

ないも信ぜざれば天下に信をおくものはない 所良麋と自他共に許すに至ったのである。之 に世の批判時代は過ぎ去つて、

天下公認の肺

病おく請合薬

那郷治師戦は今回新に最有効の高貴栗の衛門を除ぎ、騒を都めて安眠せしり続けを除ぎ、騒を都めて安眠せしりに見なて悪快に向はしむ。

1 有田音松鑑製」

本鄉大阪內本町二 大阪心清橋南部

一角田ドラッグ

有田

興實の全快者で、虚僞のものではないから既 である。商會の發表する全快者はどこまでも



肺病全快の體驗記を

白万。同

結核不治説を

第篇教育 美談

跡を野平家の現代相

田岩

全快者 坂部あき子



した。その後は何の仕事をしても で、まなく家内中が愉快に難して居ります。これには有田ドラツグ薬の にとしてはで、百田ドラツグ薬の にとして力を添さず、一日 のお方は決して力を添さず、一日 安 全快者 安部りり も早く有田ドラツグへ御相談に行のお方は突して力を落さず、一日

が旅はもとより、この病気 と云ふ懸はあらゆるものを て服用し、その間一ケ年余 でもしたが、私の姿生の足 であか、病は重るのみで此

※ 買売めて服用しましたら丁度三日 を 目でありました、熟は念に解釈した。その際しさは今に思はれました。その際とことが別に得み、 が、その感しさは今に忘れることが出 が、来ません。私が少しづくでも作方 が、まなが、私が少しづくでも作方 が、まながない。私が少しづくでも作方 に聞ふ様になったので、家内は生 気がたいよっ様になり、其後一般 に聞ふ様になったので、家内は生 ・ に良くなり、元の健康側に復しまった泉を増し丁度四週間電版した末

城居の代累侯達伊

(す稱もと城島鶴) 城島和宇



快者 市原

一縣武儀郡大矢田

意を観い何をするにも原属を増し「傳は一方ならず種々手皆も致しまでやって來ましたが、近巫更有徳」加答兒との診斷を下され、私の驚肺梗処犯を惹くこともなく健康微」けたるに何れの醫師も結核性歴尖をでやりました。さらして今迄は しい為め、二三の醫師の診斷を受きでやりました。さらして今迄は しい為め、二三の醫師の診斷を受

醫師並病院で商會の薬



欺されたと思つて

のんだ薬で全快

有田ドラック専責所にて限要全快にて限要全快

伏者 吸山みね子様

にて服薬全状

昂山市縣的富山館食

炎 炎 (大)

地磁標

生田 整治

有田ドラツグ稼養所助川町仲町

したらと親子の相談がまとまり、 野日直に父が解党島歌大口町有钮 し 学名の事を記しました感が、主任 塚上 たので、有日様観音振報としての炎に付いての を一點個分質表的できれ、思速を一點個分質表的で下され、思速を一點個分質表的で下され、思速を一點個分質表的で下され、思速を一點個分質表的で下され、思速を一點個分質表的で下され、思速を一點個分質表的でである。

日 ります。 ※ 念のほと常地の智院で健康談職を ※ 念のほと常地の智院で健康談職を ※ 念のほと常地の智院で健康談職を ・ に悪んで居ります。 ・ に悪んで居ります。 ・ に悪んで居ります。

快全經病肺

旅順敦賀大連但馬町

二州山泉邱浦京岛等 南浦碑石里 山田東栄 項本 90 水 **常町町天** P

左記所在地の専 買取あ

ぜ脳心臓性胃腸病 請合藥藥 請合藥 五五四五

製鑑松香田有 藥 効 有 任 貴

n

詰南橋斎心阪大

一、無線優者は徐々に援動を始めよ

一、色〇は大禁物、紹對に禁止せよ 一、有熱時は絕對安静にし横臥せよ

1、病人の好む消化し易き食物を與へよー、家庭上の心配事は消人に聞かすな し、日常りと空気の流通よき病室を選べ

自宅養生の注意

等院是 四 四 平 古 平 古 平 古



のふダルニー河で

機とも金容 概能民業大會が開催されたるを 大正十四年四月京城において全

海原在日本切野労働級同盟無難宋

守高龍十七代古谷作太夫一正夫要たが右位階は帰戚被領主見見備後

九日記事解禁さる

西洲四五番地池出小児科警院、長池田嘉一郎 総職の種を蒔くものと見られてゐる 事件の内容を接職するに去る三日市のを受けたことからまたも誤診か、 田小児科響師の診察を受けたところ同層師は陽次との診断件の内容を膨踞するに去る三日市内山中町満線戦・総様置さんは悪受けたことからまたも誤診か、正診かの問題を惹起 一元ので、同器では近く 元大連署では同門師が派摘 も製能か、正診かで層師界 いとの診断を下 しこれが手當 との診臓の下に原染 実期を控っこの酸属をどうして切った所居も敷料あり六月の節が次 一流商店も敷料あり六月の節が次

絹織物が暴落 倒產者續出

この方の

豪雨

願したが水産食富局の意向として 大温漁製組合では十五日制変州水 産會長宛左の如き漁製資金の棚酒 かの他に馴する規則の改善方を続

高の一個を控除されたし 高の一個を控除されたし に減されたし に減されたし (三)怪金は現金を直に本人に渡されたし されたし されたし されたし されたし されたし

現職巡査が

强盗さなる

手續を探った 手續を探ったが十六日機電通 | 元神出 が表あったが十六日機電通 | 元神出 が表あったが十六日機電通 | 元神出 を探ったが十六日機電通 | 元神出

昨夕迄の雨量坪二石七斗七升

は動方法の改善、骨負の件以外の は動方法の改善、骨負の件以外の に一項は最近離く從来の規則を改正 で、漁業育金の融通に関する水産 であるので組合語簡単 であるので組合語簡単

=

製氷會社の氷代値下げ實行の

(イ)十二月から三月までの三銭 及び四月の三銭五里は何れも 十一月の四銭は三銭に値下げ されたし

電車の開落に開発者相鑑ぎ未 各代職士を先導に 個に引下げて質ひたいといふの一、酸情の第一點です、殊に今の本、酸情の第一點です、殊に今の全酸らぬからこの際織物消費税を要らぬからこの際織物消費税を要に軽減して欲しい、左なくば、一般減します

楽組合の代表者四十名は八條狀を呈して居る八王子絹

富業者減稅を陳情

砂原に終んであた同町繁藤米文軍 十一時十分塚突然単茂製楽し旅榜。 十一時十分塚突然単茂製楽し旅榜。 静岡縣に津浪

十五日報祭の霊師は午後に至つて一覧と離しくなり各方成共に非常な川水を見た模様である、同六時報から離く小降りとなったが岩草

吐息の有

りを示し「昭二石七半七升」

質は質々たるつるべ落ちの

お」と前途を寂じて曹厚い

邦商も支那商も悲鳴

から

である、大正九年七月十六日の雨が大正九年来の縁雨といへやら

高松宮兩殿下

奉迎午餐會

常殿下を主賓として摩迦午祭會を催した

フランス大統領の

上から抹殺されてゐるが島収極米(観訳に残されてゐる米子市の靈善完島高橋は榮宗の人物とじて史脈(蔣氏は過鬱高德の稟標ありたりと《島辰十五日製製通》南朝の忠臣(子市の動師時内宗司、谷尾金之助

朝鮮獨立を圖

仕日本鮮人共產黨事件

香港排日薄らぐ 海賊の出沒には充分警戒 增田大汽重役歸來談

『東京特実十五日號』新に鴻綾田 前十時初めて鴻溪支託に出たが午 後から馴保谷官廳、食託等を鑑説 をから馴保谷官廳、食託等を鑑説 をから馴保谷官廳、食託等を鑑説 をして就任の練郷をした、氏は支配 はたが午 ない。 見島高徳は

の方へ去る 十五石程日本登岐船で石塊を構動と 生命に開釈なかった、個同船は七 生命に開釈なかった、個同船は七 生命に開釈なかった、個同船は七

帆船颠覆

はる

田 年後から急につのつた配脚、十五 七元をものである
世 日午後二時筠埠頭東港口より石油
の 機織間において市内線和公司所有
と 日本理観船線和丸が観瀾、沈後に
日本理観船線和丸が観瀾、沈後に
日本理観船線和丸が観瀾、沈後に
土砂峰りに降り積いた楽雨に老虎・
が愛見かくと水上響に急暖あった
見たが渡浪高きため庭泊中の船が
・ ので、場頭より黒島丸を敷助に急
・ 愛慮せられてある

旃洲へは只一度 行つた事がある 十河新満鐵理事語る これから大に勉强する

福州には大正十四年の夏一回行ったきりであるから事情は殆どったきりであるから事情は殆どれた動強して減豪事情や消緩内部の事も研究したいと思つてある自分の所管は只令初めて知つたが販賣部と用度部である今後に対している国分の所管は只令初めて知つたが販賣部と用度部である今後

大會近づく

をなった問題衆三萬を入れる五十 となった問題衆三萬を入れる五十 となった問題衆三萬を入れる五十 となった問題衆三萬を入れる五十 となった問題衆三萬を入れる五十

葫蘆島附近に

寺の天井裏から位牌發見

子孫が鳥取縣廳に奉職中

電 1 日下代理司令張煥相氏が主とを選び飛行場を建設することに快を選び飛行場を建設することに快を選び飛行場を建設することに快 職異州教育會派二部會及學常普通 一十一名の委員を選定、近く關東總 一十一名の委員を選定、近く關東總 大皇職の職力銀定については同 大皇職の職力銀定については同 大皇職の職力して右實行をな 大皇職の職力して右實行をな 大皇職の職力して右實行をな 大皇職の職力して右實行をな 大皇職の職力して右實行をな なつて準備を進めてゐる 體育測定指導

た担象は大連財界で 事件は近く公判

8

○ 物なやんの郊外向きぜひ必要品

一般状態であると個人は大とぼしたかって資金の運順は昨今全く をなって資金の運順は昨今全く

新も充分整徴する事が必要だと ある、又それにあの邊は一帶に ある、又それにあの邊は一帶に ある。又それにあの邊は一帶に



盆、暮の贈答も

復職となる

東京控訴院の判決

件は檢事控訴

糶方法改善陳情

漁業組合が水産會に

神田氏破產事



新はがき 日發賣

國酒

類

料品

沙皮 界名

提四 一二 廣西語電 番

優品良質 白

米穀商 (学) 志摩洋行

婦小勺 代理店 茂 華天青紫町二三

人兒 田

内科專門 何時で 門 **櫻井內科醫院**市愛常町(天金前)

これない これらい これにはない かいい コピーング こるかい 好評。奥埃珠楽平肝油カルシューム代理店出新党祭司(1100) から これに しかに これの これに こうしょう これない

磐城町中元聯合賣出景品當籤番號發表

三七

大九五二三二 〇七九八五五六 〇三二九七六七 二四九一九七五

一囘會員券一圈、五十錢、二十錢 七日午後四時滿俱球場

囘戰

・来てしまった。 ながら離くさい息を吹いて云った

りの神経痛やリウマチスが寒い時よりも暑い時が 無いはいけないのに反對に冷やすから發病したり なができる、かやうな慢性に陷ったのも又輕いの を養するから立派に、天氣の強力を強力を強力を動きもできなくなるとは、器はしたり を養するから立派に、天氣の強力を対したり の平素治療に又再發の強力に安樂散である、スートへのを対したり の平素治療に又再發の強性に陷ったのも又輕いの の平素治療に又再發の強性に陷ったのも又輕いの の平素治療に又再發の強力に安樂散で加養したり の平素治療に又再發の強力に安樂散で加養したり の一日も早く回春の喜びを得られよ

能就治主

筋・乳・ウマ のコ 痛・リ 縮・ス

注意

扇のコリ

胸のあっちみののある



歌山な無船――、その郷土が、 歌山な無船――、その郷土が、 高る淡山な無船を見た優子は、それにひきつけられるやうに店の中 に選入って行った。そして優子は、そ は近く寄ると手をさし出して云つ の一枚でも結構です
おめぐみ下さい
ど の細つた脳のあたりを触く打ち納土は片手に持つた桃瀬で、倭 滿日柳壇

せんき腰足の痛

夜に奏効する

コリを和らげ痛みを消

夏季多く發病する譯

だった。 では、特後に握く人々の足質 ら変更けの様の脳から脳を使って ら変更けの様の脳から脳を使って 出日二 との母を見よ

狙って人々は定った。

女泥棒だ

一番適當こ決定した

見

Minute and Mile

害虫驅除に

天氣豫報をする

神経 ボリウマチス治療薬内服安楽散は差線切ず当十経 ・安楽教学館会・野土崎・十三百分 配当は、優性よ六日が四 ・安楽教学館会・野土崎・十三百分 配当は、優性よ六日が四 ・大田のの時は本紙直接申込れよ ・大田の四 ・大田のの一 ・大田ののの一 ・大田のの一 ・大田のの ・大田のの ・大田のの ・大田のの ・大田のの ・大田のの ・大田のの ・大田のの ・大田の ・大田のの ・大田の 好解的 安樂散 **和社会是是是** 東京市本鄉區菊坂町五十二

靈山紫

凉りは夏

波れを癒す妙布のキ、





制制无利指标的 虚简并推实器 雕 本

.纪幼.兒乳

大連市北大山通十四番地

日華自動

经中值車電町混信市運大 器九五八四話電 CEB大田野

開

始

佛蘭西料理 我进内四丁司

育堂

大連市連鎖打電風遊園下) 電話22251世。 みにコイ

空察診男岩

朝

大强市三河町二番地 電話四七二・三四人二

を報像は大連支店 を報像は大連支店

取 級 店 克 二二 大連市監部域

日本式會量大連代題店 的野狗所收支會量大連代題店